

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党田原市議団 村上 誠	経理 責任者	古川 幸宏			
旅行期間	令和5年10月11日から 令和5年10月13日まで	2泊 3日	視察代表	村上 誠			
旅行先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1)						
宿泊地	東横イン八戸駅前 (〒039-1102 青森県八戸市一番町1丁目3-17)						
視察・研修 等 目 的	第85回全国都市問題会議						
行 程	<p>■ 10月11日(水) <small>渥美線 ひかり はやぶさ 徒歩</small> 豊島駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 八戸駅 → ホテル</p> <p>■ 10月12日(木) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル ⇄ 八戸駅 ⇄ 本八戸駅 ⇄ 八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>■ 10月13日(金) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル → 八戸駅 → 本八戸駅 → 八戸市公会堂・公会堂文化ホール →</p> <p style="text-align: center;"><small>JR はやぶさ ひかり 渥美線</small> 本八戸駅 → 八戸駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 豊島駅</p>						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	5	1	3	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
	合 計		8	3	6	3	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

■ 旅費

1 日目

渥美線

豊島駅→新豊橋駅 470 円

新幹線（指定席、925.5km、JR を 601km 以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅→八戸駅 21,710 円 (※)

(※) 【運賃】 10,980 円（通常料金 12,210 円×割引 0.9、1 円単位は切捨て）
+ 【特急券】 10,730 円（通常時期料金）

2 日目

JR

八戸駅 ↔ 本八戸駅 190 円×2=380 円

3 日目

JR

八戸駅→本八戸駅 190 円

JR、新幹線（指定席、931.0km、JR を 601km 以上利用する際の往復割を適応）

本八戸駅→八戸駅→豊橋駅 21,910 円 (※)

(※) 【運賃】 10,980 円（通常料金 12,210 円×割引 0.9、1 円単位は切捨て）
+ 【特急券】 10,930 円（繁忙期料金）

渥美線

新豊橋駅→豊島駅 470 円

日当

移動日 (2,000 円×2 日) + 滞向日 500 円=4,500 円

宿泊費 12,000 円×2 日= 24,000 円

研修費 10,000 円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	10,000	円
-------	--------	---

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

会議参加費 領収書
自由民主党 東京都議会
村上 誠 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 10 月 12 日

第85回全国都市問題会議実行委員会

会長 熊谷 雄



全国都市問題会議報告書

氏名 自由民主党田原市議団 村上 誠

会議日	令和5年10月12日(木)～13日(金)
会場	青森県八戸市公会堂・公会堂文化ホール
会議目的	第85回全国都市問題会議

《参考になった点》

【テーマ】文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展

- 1 文化芸術・スポーツと都市
- 2 文化芸術・スポーツの可能性
- 3 都市自治体に求められる視点

全国から市長、議員、議会事務局等 1,800 人を超える方々が参加した。

基調講演として、東京藝術大学長の日比野克彦氏が登壇し、「アート役割って何だろう」と今回のテーマがどういうものなのかを問いかけているようであった。

・アートは生きる力・アートは多様性の指針・アートはここに作用する。そして、まとめとして、想像力を備えているアートは 1 人 1 人の個性という価値観を持っている心に作用する。そしてアートは社会的課題に取り組んでいく上で大切なものになるという。

続いて東京藝術大学長の日比野克彦氏が進行役となり、以下の 4 名の方々から報告があった。

- ・主報告では 熊谷青森県八戸市長から 八戸市の文化・スポーツによるまちづくり
- ・一般報告では 吉川文化事業ディレクター まちづくりの活力は地域に根差した文化政策から
花岡長野県東御市長 地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出
鈴木鹿島アントラーズFC まちづくりにおけるプロスポーツクラブの活用

皆さんがこれまでの経験談であり現在も続けられていることを発表されたが、その報告の中で吉川文化事業ディレクターからの「まちづくりの活力は地域に根差した文化政策から」は、我々の身近にある文化をいかに地域に根ざすことができるか。特別なことをするのではなく、地域資源価値を見出すことからまちづくりの活力が育まれるとしている。

とかく、活性化をするために新しい施設を求めたり、何か特別なことを計画したりと、今までのことを否定したりして活性化を目指そうとしていたが、足元を見直すことも必要であると思う。今回の全国都市問題会議で感じたことは、テーマをさらに深堀すると「また訪れたい、何度でも訪れたい」魅力ある地域づくりが必要であると思う。

そのためには、地域外の人に継続的・定期的に訪れてもらうための機会や仕組みづくり、何度でも訪れたい場所になるために、地域特有の資源の活用、交流・参加の機会をつくる必要があるとも思った。

参考様式第4号

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党田原市議団 村上 誠	経理 責任者	古川 幸宏																																																								
旅行期間	令和5年10月11日から 令和5年10月13日まで	2泊 3日	視察代表	鈴木 和基																																																								
旅行先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1)																																																											
宿泊地	東横イン八戸駅前 (〒039-1102 青森県八戸市一番町1丁目3-17)																																																											
視察・研修 等目的	第85回全国都市問題会議																																																											
行程	<p>■ 10月11日(水) <small>渥美線 ひかり はやぶさ 徒歩</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 八戸駅 → ホテル</p> <p>■ 10月12日(木) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル ⇄ 八戸駅 ⇄ 本八戸駅 ⇄ 八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>■ 10月13日(金) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル → 八戸駅 → 本八戸駅 → 八戸市公会堂・公会堂文化ホール →</p> <p><small>JR はやぶさ ひかり 渥美線</small> 本八戸駅 → 八戸駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅</p>																																																											
経路 別紙のとおり	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">旅 費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄道賃</td> <td></td> <td>4</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>車賃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>航空賃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>日当</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>宿泊料</td> <td></td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>研修費</td> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>8</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				旅 費							鉄道賃		4	5	2	3	0	車賃							航空賃							日当			4	5	0	0	宿泊料		2	4	0	0	0	研修費		1	0	0	0	0	合計		8	3	7	3	0
旅 費																																																												
鉄道賃		4	5	2	3	0																																																						
車賃																																																												
航空賃																																																												
日当			4	5	0	0																																																						
宿泊料		2	4	0	0	0																																																						
研修費		1	0	0	0	0																																																						
合計		8	3	7	3	0																																																						

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

■旅費

1日目

渥美線

三河田原駅→新豊橋駅 520円

新幹線（指定席、925.5km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅→八戸駅 21,710円（※）

（※）【運賃】10,980円（通常料金12,210円×割引0.9、1円単位は切捨て）
+【特急券】10,730円（通常時期料金）

2日目

JR

八戸駅 ↔ 本八戸駅 190円×2=380円

3日目

JR

八戸駅→本八戸駅 190円

JR、新幹線（指定席、931.0km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

本八戸駅→八戸駅→豊橋駅 21,910円（※）

（※）【運賃】10,980円（通常料金12,210円×割引0.9、1円単位は切捨て）
+【特急券】10,930円（繁忙期料金）

渥美線

新豊橋駅→三河田原駅 520円

日当

移動日（2,000円×2日）+滞在日500円=4,500円

宿泊費12,000円×2日=24,000円

研修費10,000円

参考様式第1号

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	10,000	円
-------	--------	---

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

会議参加費 領収書

自由民主党 田原市議員

鈴木 和基 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 10 月 12 日

第85回全国都市問題会議実行委員会
会長 熊谷 雄一



視察・研修等報告書

令和5年10月20日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
 議員名 鈴木 和基

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	村上誠	経理 責任者	古川幸宏
期 間	令和5年10月12日(木)～13日(金)			
視察・研修 等先	●第85回全国都市問題会議 八戸市公会堂・文化ホール 〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1 宿泊先：東横イン八戸駅前 〒039-1102 青森県八戸市一番町1-3-17			
視察・研修 等の目的	議題：「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」 をテーマとした、多面的な報告・討議			
視察先等 面会者				
概要及び 見所	●基調講演 東京藝術大学長アーティスト日比野克彦氏による「アートの役割って何だろう？」 都市の魅力と発展にどうやってアートを活かすか？理解が難しい講演ではあった。アートを通じて一人一人の個性を再確認し、自分自身を浮かび上がらせることで、お互いの存在を認識し新しいフィールドが生まれ、多様性ある社会が築かれていくということであろうか。それと生きる上で重要なイメージする力、想像力を養ううえでアートは有効であろう。 ただ一般人がアートの世界に踏み込むのは、なかなか勇気もいる。			

概要及び見所

●主報告

八戸市長熊谷雄一氏による「八戸市の文化・スポーツによるまちづくり」

多くの地方都市同様、旧市街地の商業機能が衰退する問題を抱え、新たな交流と創造の文化交流拠点として「はっち」を開館。市民が観客としてでなく、当事者として参加したり創作できるかたちで運営することをキーコンセプトとし、公共交通網の整備と併せながら、歩いて回遊できるエリアを整備していった。未だ都市機能再編の途上にあるとはいえ、公共の投資が民間による都市機能再編への投資を呼び込んだ。

●一般報告

3人からの報告があったが、長野県東御市長花岡利夫氏による報告は大変興味ある内容であった。

東御市は標高差が1,500mにも及び、平地が少ないことがまちの欠点として捉えられていた。しかし、地方創生で大切なのは、欠点を認めた上で転換思考をもって地域の資源(価値)につなげることであるという発想のもと、まずワイン醸造を手掛け、長野県内初のワイン特区認定を取得。現在では14軒のワイナリーがワイン醸造を行っている。

そしてもう1つ、その標高差を活かして「高地トレーニング」を中心として「スポーツが生み出す都市の魅力と発展」に向けた取り組みを進めた。

まず日本水泳連盟が東京オリンピックに向け、高地トレーニング施設の適地を模索していたことはタイミングに恵まれたと言える。そこで多様かつGMOインターネットグループ株式会社のようなステークホルダーと上手く連携できたことが成功につながり、大橋悠依選手のような金メダリストを輩出できた。

これは市長の着眼点の素晴らしさと行動力によるところが大きかったのではと感じた。

●パネルディスカッション

どうしてもスポーツによる地域活性化という点に興味がある。まずはトップスポーツクラブが地域にあることは大きい。ただ、その関わり合いの形態はさまざまであることを知った。本市としてはなかなかその環境にないことも実感としてある。何かの契機が必要だろう。

例えば今回静岡県沼津市の頼重市長がパネラーで参加さ

れたが、沼津市は国体のフェンシング会場となったのを機に「フェンシングのまち沼津」として日本フェンシング協会と包括連携協定を締結しまちづくりにつなげた。また、ゴン中山の出身地である沼津市は中山雅史氏を監督に迎え J3 ではあるが「アスルクラロ沼津」を設立。サッカーどころ静岡ということもあるだろうが、いかにも地域で応援し、盛り上がりそうな一手である。

今、本市としたら小川投手、もしくはトヨタ自動車陸上長距離部などを、もっと地域で後押しできる策はないだろうか。

参考様式第4号

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党田原市議団 村上 誠	経理 責任者	古川 幸宏			
旅行期間	令和5年10月11日から 令和5年10月13日まで	2泊 3日	視察代表	岡本 禎稔			
旅行先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1)						
宿泊地	東横イン八戸駅前 (〒039-1102 青森県八戸市一番町1丁目3-17)						
視察・研修 等 目的	第85回全国都市問題会議						
行程	<p>■ 10月11日(水) <small>渥美線 ひかり はやぶさ 徒歩</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 八戸駅 → ホテル</p> <p>■ 10月12日(木) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル⇄八戸駅⇄本八戸駅⇄八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>■ 10月13日(金) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル→八戸駅→本八戸駅→八戸市公会堂・公会堂文化ホール→</p> <p style="text-align: center;"><small>JR はやぶさ ひかり 渥美線</small> 本八戸駅 → 八戸駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅</p>						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	5	2	3	0
	車賃						
	航空賃						
	日当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
	合計		8	3	7	3	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

■旅費

1日目

渥美線

三河田原駅→新豊橋駅 520円

新幹線（指定席、925.5km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅→八戸駅 21,710円（※）

（※）【運賃】10,980円（通常料金12,210円×割引0.9、1円単位は切捨て）
+【特急券】10,730円（通常時期料金）

2日目

JR

八戸駅 ⇄ 本八戸駅 190円×2=380円

3日目

JR

八戸駅→本八戸駅 190円

JR、新幹線（指定席、931.0km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

本八戸駅→八戸駅→豊橋駅 21,910円（※）

（※）【運賃】10,980円（通常料金12,210円×割引0.9、1円単位は切捨て）
+【特急券】10,930円（繁忙期料金）

渥美線

新豊橋駅→三河田原駅 520円

日当

移動日（2,000円×2日）+滞在日500円=4,500円

宿泊費12,000円×2日=24,000円

研修費10,000円

参考様式第1号

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

領収書金額	10,000 円
-------	----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

会議参加費 領収書

自由民主党 田原田議員団
岡本 禎稔 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
 上記正に領収いたしました。

令和5年 10月12日

第85回全国都市問題会議実行委員会

会長 熊谷 雄



視察研修報告書

田原市議会議長 殿

岡本禎稔

第 85 回全国都市問題会議

日時 令和 5 年 10 月 12 日 (木) 13 日 (金)

場所 青森県八戸市

テーマ 文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展

10 月 12 日 (木)

・基調講演 アートの役割って何だろう？

東京芸術大学長/アーティスト 日比野克彦

アートとはいったい何であろうか？美術・音楽・演劇などの表現形態をイメージするかと思うが、今日はアートが人に及ぼす機能、可能性をあらためて考えてみて、現代社会の中での人に対してのアートの働きを 3 つの捉え方で分析をした。

1, アートは生きる力

アートとは「生きる力」と捉えてみる。アートに欠かせないのがイメージする力、想像力である。人が人らしく生きていくためにとても重要な役割をもっている。

2, アートは多様性の指針

アートとは「多様性ある社会を築く基盤」と捉える。現代の社会において、多様性の価値観への眼差しが次世代の大きなテーマとなっている。障害のあるなしとか、また、個々の異なる背景にかかわらず、誰しもが互いにその人のそれぞれのらしさを排除しない社会を目指している。

3, アートとはここに作用する

アートは「社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくには大切なもの」である。今ではない未来の姿を想像する力、ここではない場所を想像することができる力、一人一人の差異を、違いを否定することなく、そこにいることを排除しないという感覚。これらのアートの特性を現代社会を構築していく中での、基盤と捉えていく社会を想像してみたい。大きな力が世界を動かすのではなく、一人一人の小さいけれども、確実にある、少しずつ異なった多様な想いが、時代を変化させていくような気がする。

・背景と取り組み

現在、市では「はちのへ文化まちづくりプラン～八戸文化芸術推進基本計画～」や「八戸市スポーツ推進計画」を定めている。

- 1, 文化によるまちづくり
- 2, スポーツによるまちづくり

・文化の力、スポーツの力

- 1, 地域資源を活かす拠点とネットワークをつくること
- 2, 関心やテーマに基づくコミュニティと当事者を増やすこと

・開かれたパブリックな場をつくること

効率や成長を重視することから、成熟社会への価値観の転換を前提としたまちづくりのありかたの1つとして、互いの顔や活動が見える空間づくりにより、コミュニティ感覚を醸成し、そこで誘発される交流からより良い社会をつくるイノベーションが生まれるきっかけになればよいと考えている。

一般報告 街づくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる

文化事業ディレクター 演出家 吉川由美

1, まちのリノベーションと「はっち」の誕生

八戸市は中心街再生の起爆剤とすべく、「八戸ポータルミュージアムはっち」を2011年2月に開館させた。はっちは、観光、地域資源、モノづくり、食文化祭礼と芸能、風俗、自然、子育て、市民活動、シアター、スタジオ、アーティスト・イン・レジデンス、コミュニティFMなど、多様な情報のショーケースでありつつ、市民を主体とするさまざまな活動の拠点である。

2, はっちのアート・プロジェクト

開会記念の「八戸レビュー」。88人の市民に88組の市民を取材してもらい、それぞれのエピソードを執筆、そのエッセイをもとに3人の写真家がポートレイトを撮影するプロジェクトには、最終的に400人以上の市民が参加した。

3, 地域社会の分母としての文化をみんなで見出す

祭りは地域経済を浮揚しうる観光産業の優良コンテンツでもある。その「商品」としての祭りを支えているのは、多くの場合、市民のボランティアな力だということをわすれてはならない。人が疲弊することなく、祭りや芸能に参加する喜びと意義を感じ続けることが、その継承につながる。支えている市民力の価値を可視化し讃える機会が、どの地域でもほとんどない。「地域の分母としての文化」の価値を、今、行政も市民も意識すべき

であろう。

4、危機と文化

地域に根ざしたアートプロジェクトは、普段は見えにくい地域固有の文化や個々のアイデンティティを再発見する視座を住民たちにもたらし、彼らの絆を支え、シビック・プライドの醸成に一役買ったという確かな手応えを、今感じている。

5、地域の活力と魅力の源泉は”地域の文化“

祭りの例のように、経済のうねりが地域文化を疲弊させてしまう危険を見極めつつ、まちのソフトパワーと地域社会の分母を担う人づくりを意識し、地域に根ざした文化政策のあり方を考えたいものである。

一般報告 標高差 1,500m地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出

長野県東御市長 花岡利夫

1、文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展に向け

文化芸術行政とスポーツ行政を市長部局へ移管した。この移管にともない、文化芸術・スポーツが生み出す魅力と発展に向け、振興施策の方向性を示すための「東御市スポーツ推進計画」と「東御市文化芸術推進計画」をそれぞれ策定した。

2、欠点を個性に

標高差のあるまちの特徴を活かすためにまず思いついたのがワイン醸造だった。もう一つが、標高差を活かせるものが「高地トレーニング」だった。

3、地域固有の価値を創出し最大限に活かす

「湯の丸高地トレーニング施設」が具体性を帯びたのは10年前、2020年オリンピック・パラリンピックの開催が決まった平成25年の事だった。湯ノ丸は1,750Mであり、専門家によるとこれが個人差が出るのを避けられるギリギリの標高との事だった。

4、合言葉は「東御から世界へ」

令和3年夏の東京2020オリンピックで競泳ニッポンが獲得した金メダルは大橋選手2つ、当時の日本代表ヘッドコーチだった平井氏からは「東御の施設があったから大橋の金メダルがあった」との言葉を頂いた。

一般報告 まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用

(株)鹿島アントラーズ FC 取締役副社長 鈴木秀樹

1、全国に広がるプロスポーツクラブ

プロスポーツクラブの存在はシティセールスにつながる。ホームゲームの開催が交流人口の増加をもたらす、地域の経済的なメリットを生む。住民の心理面、経済面を合わせて、プロスポーツクラブはその地域を「豊か」にする。

2, 鹿島アントラーズと地域との深いつながり

アントラーズの創設当初のホームタウン（活動区域）は鹿島町、大野村など 5 町村だったが、平成の町村合併を経て、現在は鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、銚田市という構成になっている。

3, 鹿島アントラーズによる地域の社会課題解決

鹿島アントラーズは国内最多の 20 冠を重ねながら、地域のシンボルとなり、にぎわいをつくり、地域住民のこころを躍らせ、豊にしてきた。地域に根ざしたクラブづくりを進めながら、地域を活性化させてきた。

4, プロスポーツクラブを有効に使い切る

自治体に望みたいのは、地域の貴重な資源であるスポーツクラブの有効活用であり、活用を進めれば自治体だけではできないことが可能になる。社会課題を解決し、まちづくりを推進することができる。スポーツクラブの力を引き出し、使い切ってもらいたい。そのためにプロスポーツクラブは存在していると言っていい。

10月13日（金）

パネルディスカッション

一巡した文化芸術を活用したまちづくり

～自治体文化行政から魅力的なまちへ～

東京大学大学院人文社会系研究科教授 小林真理

文化芸術・スポーツは、市民の生活に豊かさや潤いをもたらすと同時に人々の間につながりを生み出し、それが都市のにぎわいやアメニティを醸し出し、やがては都市の顔を形作る。文化芸術・スポーツが生み出す「都市の魅力と発展」とは、まずもってその地域に住む人々がいつまでも暮らし続けたいと思われたいような都市をつくっていくための営みであり、さらにそれが地域の外の人々をも惹きつけることで、都市全体の持続的な発展へと結びついていくことが望まれる。都市の文化芸術・スポーツ政策全般に関して多くの都市に共通する基本的な視点、姿勢、認識をさらに追及し、確認しておくことが必要であろう。それと同時に、文化芸術・スポーツ政策の具体的な内実や、それらが都市の魅力へとつながるためのプロセスや手法等に関するさまざまな個別の論点についても議論が深められなければならない。

八戸の独自性が生み出してきたもの

合同会社代表取締役 今川和佳子

八戸市にはこの10年+ α の間に、「八戸ブックセンター」(2016年)、「八戸まちなか広場マチニワ」(2018年)、「八戸美術館」(2021年)などの公共施設が徒歩圏内に続々と整備された。それぞれが他に類を見ない個性的な事業を展開しながら、地域とも連動し、界隈ににぎわいと話題を呼んでいる。はっちが持つ「複合的な機能」というのはハードだけではない。「貸館事業」「自主事業」「会場場づくり事業」の3つのソフト事業軸を持ち、特に自主事業に関しては観光からアートまで、歴史・伝統をテーマにしたものから現代のものまで、多岐にわたる。そして全体を貫いているのが、「八戸という地域を再発見する」という視点である。

地域活性化におけるスポーツの役割とその変化

拓殖大学商学部教授 松橋崇史

地域活性化とスポーツが関連付けられて語られるようになってから20年以上が経過した。プロスポーツクラブの創設・育成スポーツイベントの誘致・開催、集客施設の開設・運営等、全国各地で多くの取り組みが行われるようになった。スポーツと地域社会をめぐる政策は、1970年代以降進んだ。高度経済成長期に都市部に流入した人々が新たな街を創る中で、行政主導のスポーツ教室から新たなスポーツサークルを誕生させる試みが生まれた。地域を元気にするといった取り組みも、それを標榜して活動を積み重ねていく必要がある。実社会の取り組みは、スポーツのように明確なルールや対戦相手、本番としての大会が存在しているわけではないかもしれない。しかし、スポーツから得られるインスピレーションによって、地域を活性化することとスポーツがリンクして語られる。

スポーツとアニメを活用したにぎわいの創出
～誇り高い沼津を目指して～

静岡県沼津市長 頼重秀一

沼津市は、海山川の豊かな自然に恵まれ、サイクリング・マリンスポーツを楽しめる海岸線エリアやハイキング・トレッキングが楽しめる丘陵エリアなど、バラエティーに富んだスポーツエリアを数多く有している。昭和32年に国体のフェンシング競技会場となったことを契機に市内の複数の高校にフェンシング部が創設された。以来、市内で競技が盛んに行われてきた歴史・土壌を背景に、「スポーツを活用したまちづくり」を目指す沼津市と「東京一極集中から脱却し地方拠点を設けたい」との意向があった公益社団法人日本フェンシング協会の方向性が合致し、平成31年2月に全国で初めて同協会と包括連携協定を締結し、「フェンシングのまちづくり」がスタートした。スポーツ・アニメを通じた取り組みを加速させ、まちが活気と魅力にあふれ、市民一人ひとりがまちに誇りを持ち、いつまでも輝き続けるまちとして、次の100年への新たな一歩を力強く踏み出す。

文化芸術・スポーツで紡ぐまち・綾部
—市民一人1文化・1スポーツの推進—

京都府綾部市長 山崎善也

綾部市は第6次綾部市総合計画に基づき、文化芸術が人々に感動や生きる喜びをもたらす人生を豊かにすることから、多くの市民が文化芸術に触れ親しむ機会の充実を図り、「市民一人1文化」の推進により文化のかおる街づくりを目指している。2023年3月に文化庁が京都に移転をした。歴史的に日本の文化芸術の中心であった京都では、伝統的な文化や芸術を将来にわたって保存していくとともに、一方では貴重な文化財を活用しながら新たな価値観を生み出していくことも期待されている。住民自身がそれぞれの地域に誇りを持たない限り、定住や交流の促進は覚束なく、その土地を訪れてきた人に対して住民が自信を持って自分たちのまちの素晴らしさを語ることから、地方創生は始まると思う。文化芸術やスポーツの魅力や価値を最大限活用することは、まさにそれを実現できる「鍵」になると確信している。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党田原市議団 村上 誠	経理 責任者	古川 幸宏		
旅行期間	令和5年10月11日から 令和5年10月13日まで	2泊 3日	視察代表	中神 靖典		
旅行先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1)					
宿泊地	東横イン八戸駅前 (〒039-1102 青森県八戸市一番町1丁目3-17)					
視察・研修 等 目的	第85回全国都市問題会議					
行程	<p>■ 10月11日(水) 議長車 ひかり はやぶさ 徒歩 大府市役所 → 豊橋駅 → 東京駅 → 八戸駅 → ホテル ※公務(愛知県市議会議長会第2回理事会)に従事</p> <p>■ 10月12日(木) 徒歩 JR 徒歩 ホテル⇄八戸駅⇄本八戸駅⇄八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>■ 10月13日(金) 徒歩 JR 徒歩 ホテル→八戸駅→本八戸駅→八戸市公会堂・公会堂文化ホール→ JR はやぶさ ひかり 渥美線 本八戸駅 → 八戸駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅</p>					
経路 別紙のとおり	旅 費					
	鉄道賃	4	4	7	1	0
	車 賃					
	航空賃					
	日 当		3	5	0	0
	宿泊料	2	4	0	0	0
	研修費	1	0	0	0	0
	合 計	8	2	2	1	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
経路及び旅費については、事務局にて記入。

■旅費

1日目

新幹線（指定席、925.5km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅→八戸駅 21,710円（※）

（※）【運賃】10,980円（通常料金12,210円×割引0.9、1円単位は切捨て）
+【特急券】10,730円（通常時期料金）

2日目

JR

八戸駅 ⇨ 本八戸駅 190円×2=380円

3日目

JR

八戸駅→本八戸駅 190円

JR、新幹線（指定席、931.0km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

本八戸駅→八戸駅→豊橋駅 21,910円（※）

（※）【運賃】10,980円（通常料金12,210円×割引0.9、1円単位は切捨て）
+【特急券】10,930円（繁忙期料金）

渥美線

新豊橋駅→三河田原駅 520円

日当

10月11日分：2,000円-1,000円=1,000円（移動日）

※大府市役所での愛知県市議会議長会第2回理事会に出席するにあたり
（公務従事）、公費から日当1,000円が支出されるため、差額1,000円を
支給

10月12日分：500円（滞在日）

10月13日分：2,000円（移動日）

合計：3,500円

宿泊費 12,000円×2日=24,000円

研修費 10,000円

参考様式第1号

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

領収書金額	10,000	円
-------	--------	---

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

会議参加費 領収書
 自由民主党田原市議員団
 中神 靖典 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 10月12日

第85回全国都市問題会議実行委員会
 会長 熊谷 雄



第85回全国都市問題会議

中神 靖典

令和5年10月12日（木）13日（金）「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」をメインテーマに青森県八戸市公会堂で開催された。

基調講演 「アートの役割って何だろう？」

東京藝術大学長 アーティスト 日比野克彦

アートとは、①「生きる力」②「多様性ある社会を築く基盤」③「社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくには大切なものである」と捉えている。人と人とのつながり、心の産業としてまわるように、人と人や社会を結ぶ文化リンクワーカーの役割も重要である。アートの社会貢献について語られる。

主報告 「八戸市の文化・スポーツによるまちづくり」

青森県八戸市長 熊谷 雄一

① 公共の施設が専門人材という人的資源を持ちながら、ハブとなる持続的な拠点としてまちにコミュニケーションの新たな回路をつくり、ネットワーク化すること ② 関心やテーマに基づくコミュニティと地域づくりの当事者が増えれば、定住人口が減ったとしても、まちは豊かになるはずである。「八戸屋台村みろく横丁」は、オープンな環境であり、人が人を呼ぶにぎわいを先取りして実現してきた。

一般報告 「まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる」

文化事業ディレクター 演出家 吉川 由美

まちのリノベーションと「八戸ポータルミュージアムはっち」の誕生に携わる。地域社会を支える分母としての文化をみんなで見出す。地域をつくる人を育てること、地域を支える見えざる人々の存在を評価し、その価値を可視化し讃える機会が、どの地域でもほとんどないことが課題である。

一般報告 「標高差1500mの地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出」

長野県東御市長 花岡 利夫

地域創生で大切なのは、欠点を認めたくえで転換思考をもって地域の資源（価値）につなげることである。標高差のあるまちの特徴を活かすために、まずはワイン醸造を始める。もう一つは標高差を活かせる高地トレーニングである。「湯の丸高地トレーニング施設」が具体性を帯びたのは、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催が決まった平成25年のこと。「東御から世界へ」を合言葉に、資金不足を乗り越えて実現させる。

一般報告 「まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用」

株式会社鹿島アントラーズFC取締役副社長 鈴木 秀樹

ほとんどの本拠を置く地域に根を張り、地域の象徴的な存在となって、地域に活力を与えることを目指している。プロスポーツクラブの存在はシティセールスにつながり、交流人口の増加をもたらし、地域の経済的なメリットを生む。さらに大きな力として、まちの姿そのものを変える力がある。2022年策定の第4次鹿嶋市総合計画では、アントラーズとカシマスタジアムを重点地域資源と捉え「他の資源と結びつけながら地域経済の核とする」とうたっている。社会課題を解決し、まちづくりを推進することができる。

パネルディスカッション 「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」

コーディネーター 東京大学大学院人物社会系研究科教授 小林 真理

パネリスト 合同会社 imajimu 代表取締役 今川 和佳子

拓殖大学商学部教授 松橋 崇史

静岡県沼津市長 頼重 秀一

京都府綾部市長 山崎 善也

まちづくりのコアとしての文化・文化施設であり、若者や高齢者の可能性を引き出す場でもあり、都市の居心地の良さを提供する場でもある。複合的な機能を持つ「はっち」の誕生、さらには中心街の通行量の増加や空き店舗に事務所開設などの波及効果ももたらした。スポーツに新たな価値を付与することを通じて、スポーツを地域活性化に活かしていく視点が重要である。スポーツ・アニメを通じた取り組みを加速させ、まちが活気と魅力にあふれ、まちに誇りを持ち、いつまでも輝き続けるまちとして、踏み出していく。文化芸術・スポーツの意義を住民に伝えるとともに、ソフト・ハード両面の環境整備に努めることが肝要である。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党田原市議団 村上 誠	経理 責任者	古川 幸宏			
旅行期間	令和5年10月11日から 令和5年10月13日まで	2泊 3日	視察代表	古川 美栄			
旅行先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1)						
宿泊地	東横イン八戸駅前 (〒039-1102 青森県八戸市一番町1丁目3-17)						
視察・研修 等 目的	第85回全国都市問題会議						
行程	<p>■ 10月11日(水) <small>渥美線 ひかり はやぶさ 徒歩</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 八戸駅 → ホテル</p> <p>■ 10月12日(木) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル ⇄ 八戸駅 ⇄ 本八戸駅 ⇄ 八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>■ 10月13日(金) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル → 八戸駅 → 本八戸駅 → 八戸市公会堂・公会堂文化ホール →</p> <p style="text-align: center;"><small>IR はやぶさ ひかり 渥美線</small> 本八戸駅 → 八戸駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅</p>						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	5	2	3	0
	車賃						
	航空賃						
	日当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
合計		8	3	7	3	0	

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

■旅費

1 日目

渥美線

三河田原駅→新豊橋駅 520 円

新幹線（指定席、925.5km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅→八戸駅 21,710 円 (※)

(※)【運賃】10,980 円（通常料金 12,210 円×割引 0.9、1 円単位は切捨て）
+【特急券】10,730 円（通常時期料金）

2 日目

JR

八戸駅 ⇄ 本八戸駅 190 円×2=380 円

3 日目

JR

八戸駅→本八戸駅 190 円

JR、新幹線（指定席、931.0km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

本八戸駅→八戸駅→豊橋駅 21,910 円 (※)

(※)【運賃】10,980 円（通常料金 12,210 円×割引 0.9、1 円単位は切捨て）
+【特急券】10,930 円（繁忙期料金）

渥美線

新豊橋駅→三河田原駅 520 円

日当

移動日 (2,000 円×2 日) + 滞在日 500 円=4,500 円

宿泊費 12,000 円×2 日= 24,000 円

研修費 10,000 円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

領収書金額	10,000 円
-------	----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

会議参加費 領収書

古川美栄 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 10月12日

第85回全国都市問題会議実行委員会
会長 熊谷 雄



視察・研修等報告書

5年10月19日

田原市議会議長 殿

会派名自由民主党田原市議団
議員名古川美栄

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	村上誠	経理 責任者	古川幸宏
期 間	令和5年10月12日（木）～令和5年10月13日（金）			
視察・研修 等先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール			
視察・研修 等の目的	第85回全国都市問題会議			
視察先等 面 会 者	日比野克彦東京芸術大学長、熊谷雄一八戸市長、他 小林真理東京大学院教授、山崎善也綾部市長、他			
概要及び所見	<p>「アートの役割って何だろう」日比野克彦氏 想像力を備えているアートは人の生きる力になって、一人一人の差異を個性という価値観を持つアートは人をつなぐものになって、心に作用するアートは社会的課題に取り組んでいく上で大切なものになる。私たちが日常の中で自己を見つめたり、人と接したり、社会を変えたいという気持ちになったときに、いつもそこにはアートが必要である。</p> <p>熊谷雄一氏 効率や成長を重視することから、成熟社会への価値観の転換を前提とした街づくりの在り方の一つとして、互いの顔や活動が見える空間づくりにより、コミュニティ感覚を醸成し、そこで誘発される交流からより良い社会を作るイノベーションが生まれるきっかけになればよいと考えている。またそのことは、社交、スポーツを含めた文化の教授、リラックスなど、都市に最も備わっていた多様な価値を取り戻すことでもある。文化やスポーツは、元来、うちに閉じるのではなく、他者と交わり外へと開いていく性質を持つものであり、街づくりにピッタリではないだろうか。</p>			

「一巡した文化芸術を活用した街づくり」小林真理氏 近年開館した図書館も、新しく建て替えをしているものについても活気を呈している。美術館の作り方も変わってきている。図書館や美術館が、衰退する中心市街地の活性化の一旦を担っていることも稀ではなくなっている。文化ホールも講演を行っている時だけ人が集まる単なる上演施設ではなく、若者や高齢者の可能性を引き出す場にもなっている。本来の機能を原則に立ち返って問い返し、何を継続させて、さらに進化させていくかという視点からとらえられた結果であり、むしろ文化の本来的な価値や機能に気が付いたということである。

「近き者悦び遠き者来る」山崎善也氏 これは孔子の言葉ですが、まさに地方創世の核心を突いた格言といえます。まず住民自身がそれぞれの地域に誇りを持たない限り、定住や交流の促進は覚束なく、その土地を訪ねてきた人に対して住民が自信をもって自分達の街のすばらしさを語ることから、地方創世は始まると思うからだ。文化芸術やスポーツの魅力の価値を最大限活用することは、まさにそれを実現できる「鍵」になると確信している。

田原市においても、人と人とのつながりが社会をも変える力になる。互いの顔が見える活動、交流から良い社会を作り出す。文化芸術、スポーツの魅力の価値を最大限活用し街づくりに役立てていきたい。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党田原市議団 村上 誠	経 理 責任者	古川 幸宏			
旅行期間	令和5年10月11日から 令和5年10月13日まで	2泊 3日	視察代表	内藤 喜久枝			
旅行先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1)						
宿泊地	東横イン八戸駅前 (〒039-1102 青森県八戸市一番町1丁目3-17)						
視察・研修 等 目 的	第85回全国都市問題会議						
行 程	<p>■ 10月11日(水) <small>渥美線 ひかり はやぶさ 徒歩</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 八戸駅 → ホテル</p> <p>■ 10月12日(木) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル ⇄ 八戸駅 ⇄ 本八戸駅 ⇄ 八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>■ 10月13日(金) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル → 八戸駅 → 本八戸駅 → 八戸市公会堂・公会堂文化ホール →</p> <p style="text-align: center;"><small>JR はやぶさ ひかり 渥美線</small> 本八戸駅 → 八戸駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅</p>						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	5	2	3	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
合 計		8	3	7	3	0	

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

■ 旅費

1 日目

渥美線

三河田原駅→新豊橋駅 520 円

新幹線（指定席、925.5km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅→八戸駅 21,710 円 (※)

(※)【運賃】10,980 円（通常料金 12,210 円×割引 0.9、1 円単位は切捨て）
+【特急券】10,730 円（通常時期料金）

2 日目

JR

八戸駅 ↔ 本八戸駅 190 円×2=380 円

3 日目

JR

八戸駅→本八戸駅 190 円

JR、新幹線（指定席、931.0km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

本八戸駅→八戸駅→豊橋駅 21,910 円 (※)

(※)【運賃】10,980 円（通常料金 12,210 円×割引 0.9、1 円単位は切捨て）
+【特急券】10,930 円（繁忙期料金）

渥美線

新豊橋駅→三河田原駅 520 円

日当

移動日 (2,000 円×2 日) + 滞在日 500 円=4,500 円

宿泊費 12,000 円×2 日= 24,000 円

研修費 10,000 円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額 10,000 円

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

①	研究研修費
②	調査旅費
③	広報費
④	広聴費
⑤	要請・陳情活動費
⑥	会議費
⑦	資料作成費
⑧	資料購入費
⑨	事務費
⑩	その他の経費

会議参加費 領収書

内藤 喜久枝 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 10月 12日

第85回全国都市問題会議実行委員会
会長 熊谷 雄一



視察・研修等報告書

令和5年11月1日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 内藤喜久枝

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	村上誠	経理 責任者	古川幸 宏
期 間	令和5年10月12日(木)～令和5年10月13日(金)			
視察・研修 等先	青森県八戸市公会堂・公会堂文化ホール			
視察・研修 等の目的	第85回全国都市問題会議 「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」			
視察先等 面会者	青森県八戸市長 熊谷雄一氏 東京藝術大学長 日比野克彦氏 他代表者15名			
概要及び 見所	<p>10月12日 基調講演「アートの役割って何だろう」 講師 東京藝術大学長 日比野克彦氏</p> <p>アートは生きる力・アートは多様性ある社会を築く基盤・アートは社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくには大切なものと考え、アートにより自由を取り入れ都市の魅力を発信してほしいと述べた。</p> <p>八戸市長は文化スポーツの力を遺憾なく発揮できるよう、多目的施設を建設したり、公営のブックセンターを併設したり町中に拠点を作って、老若男女の発信拠点にしていると発表があった。</p> <p>10月13日 「文化芸術・スポーツが生み出す都市の発展」の報告。パネリスト4名による報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸の独自性が生み出した市民パワーのつなぐ街づくり ・多様性を体感するスポーツ ・全力を可視化するスポーツ体験 ・スポーツにアニメを活用し若者受けできるよう賑わいを創出 			

	子どもから大人まで、合唱が受け継がれる文化で街づくり綾部市等の講演から、文化・芸術・スポーツにスポットを当て展開する街を考えさせられた。
--	--

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党田原市議団 村上 誠	経理 責任者	古川 幸宏		
旅行期間	令和5年10月11日から 令和5年10月13日まで	2泊 3日	視察代表	内藤 浩		
旅行先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1)					
宿泊地	東横イン八戸駅前 (〒039-1102 青森県八戸市一番町1丁目3-17)					
視察・研修 等目的	第85回全国都市問題会議					
行程	<p>■ 10月11日(水) <small>渥美線 ひかり はやぶさ 徒歩</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 八戸駅 → ホテル</p> <p>■ 10月12日(木) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル ⇄ 八戸駅 ⇄ 本八戸駅 ⇄ 八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>■ 10月13日(金) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル → 八戸駅 → 本八戸駅 → 八戸市公会堂・公会堂文化ホール →</p> <p style="text-align: center;"><small>JR はやぶさ ひかり 渥美線</small> 本八戸駅 → 八戸駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅</p>					
経路 別紙のとおり	旅 費					
	鉄道賃		4	5	2	3 0
	車賃					
	航空賃					
	日当			4	5	0 0
	宿泊料		2	4	0	0 0
	研修費		1	0	0	0 0
	合計		8	3	7	3 0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

■ 旅費

1 日目

渥美線

三河田原駅→新豊橋駅 520 円

新幹線（指定席、925.5km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅→八戸駅 21,710 円（※）

（※）【運賃】10,980 円（通常料金 12,210 円×割引 0.9、1 円単位は切捨て）
+ 【特急券】10,730 円（通常時期料金）

2 日目

JR

八戸駅 ⇄ 本八戸駅 190 円×2=380 円

3 日目

JR

八戸駅→本八戸駅 190 円

JR、新幹線（指定席、931.0km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

本八戸駅→八戸駅→豊橋駅 21,910 円（※）

（※）【運賃】10,980 円（通常料金 12,210 円×割引 0.9、1 円単位は切捨て）
+ 【特急券】10,930 円（繁忙期料金）

渥美線

新豊橋駅→三河田原駅 520 円

日当

移動日（2,000 円×2 日）+ 滞在日 500 円=4,500 円

宿泊費 12,000 円×2 日= 24,000 円

研修費 10,000 円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

領収書金額	10,000 円
-------	----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

会議参加費 領収書

自由民主党 田原市議会

内藤 浩 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 10月 12日

第85回全国都市問題会議実行委員会
会長 熊谷 雄



視察・研修等報告書

令和5年10月15日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 内藤 浩

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	村上 誠	経理 責任者	古川 幸宏
期 間	令和5年10月12日(木)～令和5年10月13日(金)			
視察・研修 等先	青森県八戸市			
視察・研修 等の目的	第85回 全国都市問題会議 「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発信」			
視察先等 面会者	下記参照			
概要及び所見	<p>【基調講演】アートの役割って何だろう？ 東京藝術大学長、アーティスト 日比野 克彦 氏</p> <p>《概要》アートに欠かせないのはイメージ力と、想像力だ。そのため人が人らしく生きていくためにとても重要な役割を持っているので、アートは「人が生きていく力」と捉えることができる。また、他者との違いがその人の個性になるというアートの価値観は、アートは「多様性のある社会を築く基盤」と捉えることができる。そして、人のこころを動かすことは、アートの機能、役割、特性ともいえる。さまざま社会課題は単独の原因で起こっているのではなく、共通の原因は人の行動に起因しているので1人1人の気持ちの変化が必要となってくるので、こころに作用するところにアートが機能してくる場面があるので、アートは「社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくには大切なものである」と捉えることができる。</p> <p>《所見》想像、創造する力がアートであり、アートを活用することが社会的な課題を解決する重要な要因となると感じ</p>			

た。

【主報告】 八戸市の文化・スポーツによるまちづくり
青森県八戸市長 熊谷 雄一 氏

《概要》2011年新たな交流と創造の拠点、八戸ポータルミュージアム「はっち」がオープン。はっちの取り組みとしてアートプロジェクトは、それまでにない形で地域の資源に光をあて、新たな魅力を見出し発信してきた。その後八戸ブックセンター、八戸まちなか広場マチニワ、八戸市美術館と展開してきた。また、「氷都八戸」を象徴した市街地にある防災拠点機能を併せ持つ「八戸市長根屋内スケート場 YS アリーナ八戸」、そして半日でバスケットボールコートに転換可能な民間施設「フラット八戸」が整備され、スポーツツーリズムの推進など都市経営の新たな可能性を秘めた展開が生まれてくるものと考えている。

《所見》都市の空間づくりでハードの整備は重要だが、多様化するライフスタイルでは、いろいろな段階で人との交流が生まれるソフト面が地域づくりには大切と感じた。

【一般報告】 街づくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる

文化事業ディレクター、演出家 吉川 由美 氏

【概要】「はっち」は、文化芸術、産業、観光、市民活動、子育て支援など市民を主体とするさまざまな活動の拠点として企画され、3つの柱にプロジェクトを立案した。

①中心市街地を関心空間にする

②フラットなコミュニケーションの場を創る

③地域資源の価値を民まで見出す

開館後は地域資源を掘り起こすプロジェクトが続いた。

古武芸と中学生ロボコンの掛け合わせの「はっち流騎馬打毬」映画トラック野郎のモデルとなった「デコトラ」をあしらった衣装で踊る「デコトラヨイサー！」などが行われた。東日本大震災で被害の大きかった漁師たちは、葛藤と議論の末に、震災前以上の収益アップを実現した。彼らを突き動かしたのは「地域社会の分母としての文化」の力だった。

《所見》東日本大震災でまちの基幹産業など、被害にあった人々が未来につなぐために、私利私欲を捨て立ち上がった姿は、彼らの奥底の文化だと感じた。

【一般報告】 標高差 1,500mの地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出

長野県東御市長 花岡 利夫 氏

《概要》標高差のあるまちの特徴を生かすために思いついたのがワインの醸造と、高地トレーニングだった。湯の丸高原の 1,750mという標高に興味を持った日本水泳連盟が、東京 2020 オリンピックの金メダル、福岡「世界水泳選手権」を経て一つの市がつくった施設が、競泳ニッポンの強化拠点として認知度が上がった。全天候型の 400mトラック、室内プールまた付帯のトレーニングルーム、合宿施設を整備しユニバーサルデザインを取り入れ、さまざまなアスリートに資する施設環境を整えた。今後は医科学的なデータを集積させることで、市民の健康長寿の取り組みに還元できる場所にしていきたいと考えている。

《所見》室内プールの建設費は、当初補助金と寄附金等で賄う予定だったが補助対象にならず、一部を地方債で賄うことになった。地方債の償還にあたっては、企業はじめ個人などから支援をいただき、また施設運営費も観覧席なしなど規格を見直し、当初想定の半分程度に抑えられたことで、先日完済となった。

地域の欠点を個性と認識して資源として活用したことが、水泳関係者では知らない人がいない状況となっている。

【一般報告】

まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用

株式会社鹿島アントラーズ FC 取締役副社長 鈴木 秀樹 氏

《概要》全国に 100 を超えるプロスポーツクラブが存在する。そのほとんどのクラブが本拠を置く地域に根を張り、地域の象徴的な存在となっている。プロスポーツクラブの存在はシティセールスにつながり、ホームゲームの開催が交流人口の増加をもたらし、地域の経済的なメリットを生み、地域を「豊か」にする。

《所見》社会課題の解決はプロスポーツクラブだけでは解決できないが、プロスポーツクラブは多種多様な企業、人材とつながっている。クラブがハブとなり周りを巻き込んで社会課題の解決の可能性が広がると考える。

* パネルディスカッション

【テーマ】

文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展

【コーディネーター】

東京大学大学院人文社会系研究科教授 小林 真理 氏

【パネリスト】

合同会社 imajimu 代表取締役 今川 和佳子 氏

拓殖大学商学部教授 松橋 崇 史 氏

静岡県沼津市長 頼重 秀 一 氏

京都府綾部市長 山崎 善 也 氏

《概要》

○一巡した文化芸術を活用したまちづくり

いま改めて文化への注目、文化領域が、観光・まちづくりへと展開されるようになってきた。

○八戸の独自性が生み出してきたもの

複合的機能をもつ「八戸ポータルミュージアム はっち」という施設がオープンし、多様な目的と交流のための自由な空間として生まれた。昼夜問わず館内でくつろぐ老若男女や、アーティストの制作現場やフィールドワークなどの活動に積極的に参加する若者などが楽しんでもらえる場所として機能している。

○地域活性化におけるスポーツの役割とその変化

Jリーグの登場により、プロスポーツクラブの創設・育成、スポーツイベントの誘致・開催、集客施設の開設・運営などが全国各地で行われるようになった。2015年スポーツ庁の創設によりスポーツが地域活性化のドライバーとして明確にその役割を付与された。

○スポーツとアニメを活用したにぎわいの創出

沼津市はJリーグクラブ、フェンシング交流拠点施設、BMXやMTBの遊び場・練習場となる施設といった多彩なスポーツ施設が点在して、地域経済の活性化に大きく寄与している。

また、市内の学校を舞台に展開されたアニメのアイドルグループの奮闘と成長描かれたテレビアニメ放送や劇場版映画で盛り上がり、聖地巡礼としてファンが作品に登場した場所に訪れ、ファンと市民の交流が生まれ、まちづくりに欠かせない重要なコンテンツとなった。

○文化芸術・スポーツで紡ぐまち・綾部

市民一人 1 文化の推進によって文化のかおるまちづくりを

目指し、市民一人1スポーツとして、スポーツの力で人とまちの活性化と都市との交流を進めている。

《所見》

文化芸術、スポーツ振興は地域活性化の重要な要素で、それをどのように活用するかがポイントだと思った。

また、市民一人一人の取り組みとまちに誇りを持つことが大切と感じた。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党田原市議団 村上 誠	経 理 責任者	古川 幸宏			
旅行期間	令和5年10月11日から 令和5年10月13日まで	2泊 3日	視察代表	小川 金一			
旅行先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1)						
宿泊地	東横イン八戸駅前 (〒039-1102 青森県八戸市一番町1丁目3-17)						
視察・研修 等 目 的	第85回全国都市問題会議						
行 程	<p>■ 10月11日(水) <small>渥美線 ひかり はやぶさ 徒歩</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 八戸駅 → ホテル</p> <p>■ 10月12日(木) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル ⇄ 八戸駅 ⇄ 本八戸駅 ⇄ 八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>■ 10月13日(金) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル → 八戸駅 → 本八戸駅 → 八戸市公会堂・公会堂文化ホール →</p> <p style="text-align: center;"><small>JR はやぶさ ひかり 渥美線</small> 本八戸駅 → 八戸駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅</p>						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	5	2	3	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
合 計		8	3	7	3	0	

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

■旅費

1 日目

渥美線

三河田原駅→新豊橋駅 520 円

新幹線（指定席、925.5km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅→八戸駅 21,710 円（※）

（※）【運賃】10,980 円（通常料金 12,210 円×割引 0.9、1 円単位は切捨て）
+ 【特急券】10,730 円（通常時期料金）

2 日目

JR

八戸駅 ⇄ 本八戸駅 190 円×2=380 円

3 日目

JR

八戸駅→本八戸駅 190 円

JR、新幹線（指定席、931.0km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

本八戸駅→八戸駅→豊橋駅 21,910 円（※）

（※）【運賃】10,980 円（通常料金 12,210 円×割引 0.9、1 円単位は切捨て）
+ 【特急券】10,930 円（繁忙期料金）

渥美線

新豊橋駅→三河田原駅 520 円

日当

移動日（2,000 円×2 日）+ 滞在日 500 円=4,500 円

宿泊費 12,000 円×2 日= 24,000 円

研修費 10,000 円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

領収書金額	10,000	円
-------	--------	---

1	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

会議参加費 領収書

自由民主党 田原市議団

小 川 金 一 様

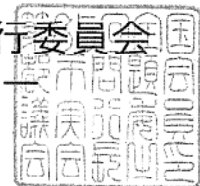
金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 10月 12日

第85回全国都市問題会議実行委員会

会 長 熊 谷 雄



視察・研修等報告書

令和 5 年 10 月 14 日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団

議員名 小川 金 一

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会 派 代表者	自由民主党田原市議団 村上 誠	経 理 責任者	自由民主党田原市議団 古川幸宏
期 間	令和 5 年 10 月 12 日（木）～令和 5 年 10 月 13 日（金）			
視 察 ・ 研 修 等 先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	第 85 回全国都市問題会議			
視 察 先 等 面 会 者	第 85 回全国都市問題会議へ参加の全国自治体の議員等			
概 要 及 び 所 見	<p>「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」と題したテーマで 2023 年 10 月 12 日から 13 日にかけて八戸市公会堂・公会堂文化ホールで開催された。</p> <p>今回、この第 85 回全国都市問題会議に参加し、各自治体が取組む政策等を、本市への施策提言の参考とするために、まず、東京藝術大学長の日比野克彦氏、八戸市長の熊谷雄一氏、文化事業ディレクターの吉川由美氏、東御市長の花岡利夫氏、(株)鹿島アントラーズ FC 取締役副社長の鈴木秀樹氏などの講演を聴講し、都市自治体に求められる視点を学んだ。</p> <p>日比野克彦氏（東京藝術大学長）の基調講演は、人と人、人とコミュニティ、そして地域と地域をつなぐ場面におけるアートの役割を深堀りしているが、芸術が地域課題を解決しうる点で示唆を与えられた。</p> <p>具体的な事例として、岐阜県の長良川の冬の風物詩ともなっているアートイベント「こよみのよぶね」、全国 28 地域に広まった「明後日朝顔プロジェクト」、熊本市現代美術館「アートラボマーケット」などを紹介された。</p>			

吉川由美氏（文化事業ディレクター・演出家）からは、「まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる」というテーマで一般報告があった。彼女は、地域の資源を大事に思いながら、新しい魅力を市民とともに創りあげる・創り出すことの取り組みを紹介した。

具体的な事例として、「中心街をみんなの関心空間に」という言葉を挙げ、地域社会の分母としての文化の重要性を説明し、市民による多様な関わりの場を提供する取り組みについても紹介されたが、この視点は本市の文化的資源を磨き生かしていくうえで、大きなヒントとなった。

今回の第 85 回全国都市問題会議へ参加では、他にも様々な取組紹介があった。

○学ぶべき点としては、以下のようなものがある。

地域の特性を活かす

各地域が持つ特性や資源を最大限に活用することで、地域固有の魅力を引き立て、観光客などを呼び込むことができる。

地域住民の参加と協力

地域住民が積極的に参加し、協力することで、地域全体での活性化を促進することができる。

持続可能な取り組み

一時的なイベントや活動だけでなく、長期的に続けられる取り組みを行うことで、持続的な地域活性化を実現することができる。

以上のような事例や学びを通じて、各自治体は自身の地域課題を解決し、地域活性化を進めるための新たなアイデアや取り組みを考えることのきっかけとなった。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党田原市議団 村上 誠	経 理 責任者	古川 幸宏			
旅行期間	令和5年10月11日から 令和5年10月13日まで	2泊 3日	視察代表	古川 幸宏			
旅行先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1)						
宿泊地	東横イン八戸駅前 (〒039-1102 青森県八戸市一番町1丁目3-17)						
視察・研修 等 目 的	第85回全国都市問題会議						
行 程	<p>■ 10月11日(水) <small>渥美線 ひかり はやぶさ 徒歩</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 八戸駅 → ホテル</p> <p>■ 10月12日(木) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル ⇄ 八戸駅 ⇄ 本八戸駅 ⇄ 八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>■ 10月13日(金) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル → 八戸駅 → 本八戸駅 → 八戸市公会堂・公会堂文化ホール →</p> <p style="text-align: center;"><small>JR はやぶさ ひかり 渥美線</small> 本八戸駅 → 八戸駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅</p>						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	5	2	3	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
	合 計		8	3	7	3	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

■旅費

1日目

渥美線

三河田原駅→新豊橋駅 520円

新幹線（指定席、925.5km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅→八戸駅 21,710円（※）

（※）【運賃】10,980円（通常料金12,210円×割引0.9、1円単位は切捨て）
+【特急券】10,730円（通常時期料金）

2日目

JR

八戸駅 ↔ 本八戸駅 190円×2=380円

3日目

JR

八戸駅→本八戸駅 190円

JR、新幹線（指定席、931.0km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

本八戸駅→八戸駅→豊橋駅 21,910円（※）

（※）【運賃】10,980円（通常料金12,210円×割引0.9、1円単位は切捨て）
+【特急券】10,930円（繁忙期料金）

渥美線

新豊橋駅→三河田原駅 520円

日当

移動日（2,000円×2日）+滞在日500円=4,500円

宿泊費12,000円×2日=24,000円

研修費10,000円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書貼
付用紙No.

領収書金額

10,000

円

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

会議参加費 領収書

自由民主党 田原市議員

古川 幸宏

様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 10月 12日

第85回全国都市問題会議実行委員会

会長 熊谷 雄



視察・研修等報告書

令和5年10月18日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 古川 幸宏

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	村上誠	経理 責任者	古川幸宏
期 間	令和5年10月12日(木) ~ 令和5年10月13日(金)			
視察・研修 等先	第85回全国都市問題会議 八戸市公会堂・公会堂文化ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸一丁目1-1) 宿泊先：東横 INN 八戸駅前 (〒039-1102 青森県八戸市一番町1丁目3-17)			
視察・研修 等の目的	議題：文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展			
視察先等 面会者				
概要及び所見	【基調講演】 ・アートの役割って何だろう？ 東京藝術大学長、アーティスト 日比野 克彦 【主報告】 ・八戸市の文化・スポーツによるまちづくり 青森県八戸市長 熊谷 雄一 ・まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる 文化事業ディレクター／演出家パネル 吉川由美 ・標高差1,500mの地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出 長野県東御市長 花岡利夫			

- ・まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用
株式会社鹿島アントラーズ FC 取締役副社長 鈴木秀樹

【パネルディスカッション】

- ・一巡した文化芸術を活用したまちづくり
～自治体文化行政から魅力的なまちへ～
東京大学大学院 人文社会系研究科教授 小林真理
- ・八戸の独自性が生み出してきたもの
合同会社 imajimu 代表取締役 今川和佳子
- ・地域活性化におけるスポーツの役割とその変化
拓殖大学商学部教授 松橋崇史
- ・スポーツとアニメを活用したにぎわいの創出
～誇り高い沼津を目指して～
静岡県沼津市長 頼重秀一
- ・文化芸術・スポーツで紡ぐまち・綾部
市民一人1文化 1スポーツの推進
京都府綾部市長 山崎善也

長野県東御市長の主報告において、公式大会用の立派な施設を構築するのではなく、「高地トレーニング・合宿に特化した施設」、練習後30分以内に管理された食事が提供できる施設、そして宿泊施設をコンパクトにまとめ、合宿誘致に重点を置くことで、プロスポーツ選手を含む多くの合宿を誘致した事例が強く印象に残りました。

同様のアプローチは、田原市においても参考にすべき事例だと思われまます。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党田原市議団 村上 誠	経理 責任者	古川 幸宏			
旅行期間	令和5年10月11日から 令和5年10月13日まで	2泊 3日	視察代表	中野 哲伸			
旅行先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1)						
宿泊地	東横イン八戸駅前 (〒039-1102 青森県八戸市一番町1丁目3-17)						
視察・研修 等 目 的	第85回全国都市問題会議						
行 程	<p>■ 10月11日(水) <small>渥美線 ひかり はやぶさ 徒歩</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 八戸駅 → ホテル</p> <p>■ 10月12日(木) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル⇄八戸駅⇄本八戸駅⇄八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>■ 10月13日(金) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル→八戸駅→本八戸駅→八戸市公会堂・公会堂文化ホール→</p> <p style="text-align: center;"><small>JR はやぶさ ひかり 渥美線</small> 本八戸駅 → 八戸駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅</p>						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	5	2	3	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
	合 計		8	3	7	3	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

■旅費

1日目

渥美線

三河田原駅→新豊橋駅 520円

新幹線（指定席、925.5km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅→八戸駅 21,710円（※）

（※）【運賃】10,980円（通常料金12,210円×割引0.9、1円単位は切捨て）
+【特急券】10,730円（通常時期料金）

2日目

JR

八戸駅 ↔ 本八戸駅 190円×2=380円

3日目

JR

八戸駅→本八戸駅 190円

JR、新幹線（指定席、931.0km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

本八戸駅→八戸駅→豊橋駅 21,910円（※）

（※）【運賃】10,980円（通常料金12,210円×割引0.9、1円単位は切捨て）
+【特急券】10,930円（繁忙期料金）

渥美線

新豊橋駅→三河田原駅 520円

日当

移動日（2,000円×2日）+滞在日500円=4,500円

宿泊費12,000円×2日=24,000円

研修費10,000円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

領収書金額	10,000	円
-------	--------	---

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

会議参加費 領収書

自由民主党 田原市議員

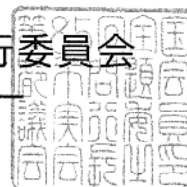
中野 均伸 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 10月 12日

第85回全国都市問題会議実行委員会
会長 熊谷 雄一



視察・研修等報告書

令和5年10月20日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 中野 哲伸

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会 派 代表者	村上誠	経 理 責任者	古川幸宏
期 間	令和5年10月12日(木) ～ 令和5年10月13日(金)			
視 察・ 研 修 等 先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール			
視 察・ 研 修 等 の 目 的	第85回全国都市問題会議に出席			
視 察 先 等 面 会 者				
概 要 及 び 所 見	<p>第1日目 10月12日</p> <p>基調講演 東京芸術大学長、アーティスト 日比野克彦 【アート役割って何だろう】</p> <p>主報告 青森県八戸市長 熊谷雄一 【八戸市の文化・スポーツによるまちづくり】</p> <p>一般報告 文化事業ディレクター、演出家 吉川由美 【まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる】</p> <p>一般報告 長野県東御市長 花岡利夫 【標高1,500mの地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出】</p> <p>一般報告 (株)鹿島アントラーズFC取締役副社長 鈴木秀樹 【まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用】</p>			

第2日目 10月13日

パネルディスカッション

テーマ

【文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と展開】

コーディネーター

東京大学大学院人文社会系研究科教授 小林真理

パネリスト

合資会社 imajimu 代表取締役 今川和佳子

拓殖大学商学部教授 松橋崇史

静岡県沼津市長 頼重秀一

京都府綾部市長 山崎善也

各市それぞれの特色を持ち、市政に生かしている。

八戸においては、市街地活性化で「横丁」をいくつも整備し『酔っ払いに愛を』をコンセプトに人集めを行っている。「夜」「飲み」で人集めとはかなり思い切った政策だと感じた。

当市において田原市街地、福江市街地、赤羽根市街地に飲み屋を整備して人を集めて賛同を得て実現を考えたときかなり難しいのではと考えてしまう。

当市においてはスポーツにおいては、「駅伝」「トライアスロン」「サーフィン」等が浮かぶ。

しかし、これらが全国に知れ渡っているかという点はまだまだこれからだと思う。競技参加者からそれ以外の人にも認知していただき、〇〇のまちといえば『田原市』と浮かぶ努力が必要と考える。

また文化においては、浮かぶものが無い。講演の中で文化は芸術とか芸能とか堅苦しく重々しいものではなく、身近なもので良いといわれていた。「花のまち」が文化になるかは分からないが、市民の多くが田原市は？と聞かれ答えられるかという点文化面においては答えられるか疑問である。どう浸透させ、どうアピールしていくかが当市において、これからの課題であると思う。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党田原市議団 村上 誠	経 理 責任者	古川 幸宏			
旅行期間	令和5年10月11日から 令和5年10月13日まで	2泊 3日	視察代表	山上 勝由			
旅行先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1)						
宿泊地	東横イン八戸駅前 (〒039-1102 青森県八戸市一番町1丁目3-17)						
視察・研修 等 目 的	第85回全国都市問題会議						
行 程	<p>■ 10月11日(水) <small>渥美線 ひかり はやぶさ 徒歩</small> やぐま台駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 八戸駅 → ホテル</p> <p>■ 10月12日(木) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル⇄八戸駅⇄本八戸駅⇄八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>■ 10月13日(金) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル→八戸駅→本八戸駅→八戸市公会堂・公会堂文化ホール→</p> <p style="text-align: center;"><small>JR はやぶさ ひかり 渥美線</small> 本八戸駅 → 八戸駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → やぐま台駅</p>						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	5	0	3	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
	合 計		8	3	5	3	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

■ 旅費

1 日目

渥美線

やぐま台駅→新豊橋駅 420 円

新幹線（指定席、925.5km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅→八戸駅 21,710 円（※）

（※）【運賃】10,980 円（通常料金 12,210 円×割引 0.9、1 円単位は切捨て）
+ 【特急券】10,730 円（通常時期料金）

2 日目

JR

八戸駅 ↔ 本八戸駅 190 円×2=380 円

3 日目

JR

八戸駅→本八戸駅 190 円

JR、新幹線（指定席、931.0km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

本八戸駅→八戸駅→豊橋駅 21,910 円（※）

（※）【運賃】10,980 円（通常料金 12,210 円×割引 0.9、1 円単位は切捨て）
+ 【特急券】10,930 円（繁忙期料金）

渥美線

新豊橋駅→やぐま台駅 420 円

日当

移動日（2,000 円×2 日）+ 滞在日 500 円=4,500 円

宿泊費 12,000 円×2 日= 24,000 円

研修費 10,000 円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額 10,000 円

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

会議参加費 領収書

自由民主党 田原市議員

山 上 勝 由 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 10月 12日

第85回全国都市問題会議実行委員会

会 長 熊 谷 雄



視察・研修等報告書

令和 5 年 12 月 29 日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 山上勝由

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

第 85 回全国都市問題会議	会 派 代表者	村上誠	経 理 責任者	古川幸宏
期 間	令和 5 年 10 月 12 日（木）～令和 5 年 10 月 13 日（金）			
視 察 ・ 研 修 等 先	青森県八戸市 八戸市公会堂・公会堂ホール			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展			
視 察 先 等 面 会 者	全国市長会会長 立谷秀清氏 八戸市長 熊谷雄一氏			
概要及び所見	<p>パネルディスカッション 文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展 コーディネーター 東京大学大学院人文社会科学系研究科教授 小林真理氏 パネリスト 合同会社 imajimu 代表取締役 今川和佳子氏 拓殖大学商学部教授 松橋崇史氏 静岡県沼津市長 頼重秀一氏 京都府綾部市長 山崎善也氏</p> <p>・スポーツによるまちづくりというテーマはとても興味をひいた。本市においてもトヨタ自動車陸上長距離部をはじめ、多くのスポーツ選手が輩出されている。しかしながら、田原市出身、田原市に拠点を置いているなどの知名度が低いのではと感じた。選手の方々に田原市の PR をしていただき選手・チームを支援していただけたらと感じた。</p> <p>・八戸市では、夜飲みをテーマに「横丁」を整備し夜のまちの活性化に取り組んでいる。本市でも、このような取り組み</p>			

は実現可能なのではと感じた。

・今回の講演ではそれぞれの市町が特色を市政に活かしている。本市でも、市民一人一人が「田原市には、これがあるよ」言える街づくりをし、全国へアピールしていかなければならないと感じた。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党田原市議団 村上 誠	経 理 責任者	古川 幸宏			
旅行期間	令和5年10月11日から 令和5年10月13日まで	2泊 3日	視察代表	真野 尚功			
旅行先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1)						
宿泊地	東横イン八戸駅前 (〒039-1102 青森県八戸市一番町1丁目3-17)						
視察・研修 等 目 的	第85回全国都市問題会議						
行 程	<p>■ 10月11日(水) <small>渥美線 ひかり はやぶさ 徒歩</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 八戸駅 → ホテル</p> <p>■ 10月12日(木) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル ⇄ 八戸駅 ⇄ 本八戸駅 ⇄ 八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>■ 10月13日(金) <small>徒歩 JR 徒歩</small> ホテル → 八戸駅 → 本八戸駅 → 八戸市公会堂・公会堂文化ホール →</p> <p style="text-align: center;"><small>JR はやぶさ ひかり 渥美線</small> 本八戸駅 → 八戸駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅</p>						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	5	2	3	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
合 計		8	3	7	3	0	

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

■ 旅費

1 日目

渥美線

三河田原駅→新豊橋駅 520 円

新幹線（指定席、925.5km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅→八戸駅 21,710 円 (※)

(※) 【運賃】10,980 円（通常料金 12,210 円×割引 0.9、1 円単位は切捨て）
+ 【特急券】10,730 円（通常時期料金）

2 日目

JR

八戸駅 ⇄ 本八戸駅 190 円×2=380 円

3 日目

JR

八戸駅→本八戸駅 190 円

JR、新幹線（指定席、931.0km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

本八戸駅→八戸駅→豊橋駅 21,910 円 (※)

(※) 【運賃】10,980 円（通常料金 12,210 円×割引 0.9、1 円単位は切捨て）
+ 【特急券】10,930 円（繁忙期料金）

渥美線

新豊橋駅→三河田原駅 520 円

日当

移動日（2,000 円×2 日）+ 滞在日 500 円=4,500 円

宿泊費 12,000 円×2 日= 24,000 円

研修費 10,000 円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

領収書金額	10,000	円
-------	--------	---

1	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

会議参加費 領収書

自由民主党 田原 孝市 議員 眞野 尚功 様

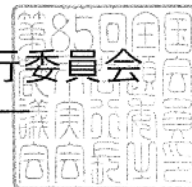
金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 10月 12日

第85回全国都市問題会議実行委員会

会長 熊谷 雄



視察・研修等報告書

令和5年11月1日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 真野尚功

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	村上誠	経理 責任者	古川幸宏
期 間	令和5年10月12日(木)～令和5年10月13日(金)			
視察・研修 等先	青森県八戸市 八戸市公会堂・公会堂文化ホール			
視察・研修 等の目的	第85回全国都市問題会議			
視察先等 面会者	東京藝術大学長 日比野克彦氏 青森県八戸市長 熊谷雄一氏 他			
概要及び所見	<p>概要</p> <p>第1日 基調講演「アートの役割って何だろう？」東京藝術大学長、アーティスト 日比野克彦 他主報告及び一般報告</p> <p>第2日 パネルディスカッション「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」</p> <p>所見</p> <ul style="list-style-type: none">・アートの役割についての考察があり、都市や社会において重要な要素であるということであった。地域住民の感性を刺激し、新たな発見を生み出す力があり、生活の中で、これまでにない価値観を生み出す原動力になりうるという点が印象的であった。・まちづくりを文化的視点から行うことにより、住民同士のコミュニケーションを生み、相互理解が深まるという見解			

が印象に残った。このことが社会課題の解決にアプローチする手段になればよいと感じた。

パネルディスカッション「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」

・鹿島アントラーズが地域づくりにかかわる事例発表があり、スポーツクラブのノウハウをまちづくりに取り入れ、地域活性化につなげていくという取組は大変興味深いと感じた。特に子どもたちに関わる事業、イベントや祭りへの参加、サッカー場を地域のために開放する事業等、地域貢献を図りながらのクラブ運営していることは田原市でも取り入れられると良いと思う。

・合唱によるまちづくりを行っている自治体の事例発表があったが、自治体の全体として一つの分野に焦点を当てるためには、住民の合意が必要であり、慎重に進めることが大切だと感じた。

参考様式第4号

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 村上 誠	経理 責任者	古川幸宏		
旅行期間	令和5年10月25日から 令和5年10月26日まで	1泊 2日	視察代表	村上 誠		
旅行先	西日本総合展示場 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1)					
宿泊地	コンフォートホテル小倉 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野2丁目6-21)					
視察・研修 等 目 的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州					
行 程	<p>■ 10月25日(水) 渥美線 こだま のぞみ 徒歩 豊島駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 小倉駅 → 会場</p> <p>■ 10月26日(木) 徒歩 のぞみ こだま 渥美線 会場 → 小倉駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 豊島駅</p>					
経路	旅 費					
渥美線	鉄道賃	3	7	2	8	0
豊島駅⇄新豊橋駅 470円×2=940円	車賃					
新幹線(指定席、814km、JRを601km以上利用 する際の往復割を適応)	航空賃					
豊橋駅⇄小倉駅 18,170円(※)×2=36,340円	日当		4	0	0	0
(※)【運賃】10,190円(通常料金11,330円×割引 0.9、端数切捨て)+【特急券】7,980円	宿泊料	1	2	0	0	0
日当 2,000円×2	研修費		9	0	0	0
研修費 9,000円×1	合 計	6	2	2	8	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月23日

村上誠 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

全国市議会議長会研究フォーラム報告書

氏名 自由民主党田原市議団 村上 誠

会議日	令和5年10月25日(水)～26日(木)
会場	西日本総合展示場新館
会議目的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州
《参考になった点》	
【基調講演】 躍動的でワクワクする議会に 大正大学教授・地域構想研究所長 片山善博氏	
【主な講演内容】 1 地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革の検証 2 地方議会に欠けていることは何か 3 議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むべきこと 4 議会の常識と市民の常識をすり合わせる	
【パネルディスカッション】	
・1日目	テーマ 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」 コーディネーター 日経新聞編集委員 谷 隆徳 氏 パネリスト 西南学院大学教授 勢一智子 氏 近畿大学教授 辻 陽 氏 女性議員ハラスメント相談センター 濱田真理 氏 北九州市議会議長 田仲常郎 氏
・2日目	テーマ 「議員のなり手不足問題への取組報告」 コーディネーター 大正大学教授 江藤俊昭 氏 パネリスト 登別市議会議長 辻 弘之 氏 目黒区議会議員 たそえ麻友 氏 枕崎市議会議長 永野慶一郎 氏
【まとめ】 議員のなり手不足問題は住民自治の劣化を招いたり、投票率の低下や無投票の当選は政治の衰退に繋がっていく可能性がある。 議員のなり手不足の解消の1つに女性の進出が考えられる。なり手不足解消のためだけでなく、議会の多様性にとっても重要ではないだろうか。 しかし、女性議員を阻む課題もある。資金・仕事そして家庭といったことなどが主な理由にあげられる。また、当選後の議会活動にも課題がある。	

参考様式第4号

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 村上 誠	経 理 責任者	古川幸宏
旅行期間	令和5年10月25日から 令和5年10月26日まで	1泊 2日	視察代表	鈴木和基
旅行先	西日本総合展示場 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1)			
宿泊地	コンフォートホテル小倉 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野2丁目6-21)			
視察・研修 等 目 的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州			
行 程	<p>■ 10月25日(水)</p> <p>渥美線 こだま のぞみ 徒歩 三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 小倉駅 → 会場</p> <p>■ 10月26日(木)</p> <p>徒歩 のぞみ こだま 渥美線 会場 → 小倉駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅</p>			

経路	旅 費					
	鉄道賃					
渥美線 三河田原駅⇔新豊橋駅 520円×2=1,040円		3	7	3	8	0
新幹線(指定席、814km、JRを601km以上利用 する際の往復割を適応)						
豊橋駅⇔小倉駅 18,170円(※)×2=36,340円 (※)【運賃】10,190円(通常料金11,330円×割引 0.9、端数切捨て)+【特急券】7,980円			4	0	0	0
日当 2,000円×2		1	2	0	0	0
研修費 9,000円×1			9	0	0	0
	合 計	6	2	3	8	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月23日

鈴木和基 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

視察・研修等報告書

令和5年10月31日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 鈴木 和基

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	村上誠	経理 責任者	古川幸宏
期 間	平成5年10月25日（水）～ 26日（木）			
視察・研修 等先	第18回 全国市議会議長会 研究フォーラム 西日本総合展示場 新館 （〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野三丁目8-1） 宿泊先：コンフォートホテル 小倉 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 2-6-21			
視察・研修 等の目的	議題：統一地方選挙の検証と地方議会の課題について			
視察先等 面会者				

概要
及び所見

●基調講演

大正大学教授兼地域構想研究所長

片山 善博 氏

地方議会をめぐる現状の問題点で、顕著なのはやはり地方議会議員選挙の投票率の低下と、更には無投票当選の増加である。片方で女性議員の割合が増加したことは地方議会改革が進んだことの表れである。

議員自身が議会の権限を認識、活用してもっと積極的に議員活動に取り組むことによって、議会と市民との常識が近くなり、議員としてあるべき姿に近づく。更には議会の劣化を防ぎ、なり手不足の解消に繋がっていくと感じた。

●パネルディスカッション

谷 隆徳 氏 (日本経済新聞編集委員)

勢一 智子 氏 (西南学院大学法学部教授)

辻 陽 氏 (近畿大学法学部 教授)

濱田 真理 氏 (Stand by Women 代表)

田仲 常郎 氏 (北九州市議会 議長)

テーマ：統一地方選挙の検証と地方議会の課題について

【 統一地方選挙の検証と地方議会の課題 】

- ・女性議員の増加（とはいえ、女性と60歳未満の議員割合は相変わらず低い）
- ・依然として無投票当選が多かった
- ・議会に対する関心の低下は指摘せざるをえない
- ・多様な人材の参画に欠ける
- ・小規模自治体の議員報酬では「兼業」しないと生活できない。
- ・首長と議長が同じ住民の代表として対峙する「二元代表制」が理想と化している。
- ・政務活動費の額も、小規模自治体では支給額が少なく、交付が無い自治体もある。
- ・有権者からのハラスメント

【 課題克服のための方策について（所見も含め） 】

- ・夜間・休日等の議会開催
(多様な人材の議会参画)
- ・ハラスメント相談窓口の設置

- ・ハラスメント案件が議会の持ち込まれた場合のルールや基準を設ける必要性あり
- ・議員報酬の水準のあり方を議論
- ・情報公開の充実（SNS他）
- ・対面広報活動の充実（住民と考える）

議会や議員がそれぞれの立場において、その重い役割や責任を自覚する必要があると改めて思った。

●課題検討

テーマ：「議員のなり手不足問題への取組報告」

- 江藤 俊昭 氏（大正大学社会共生部公共政策課教授）
- 辻 弘之 氏（登別市議会 議長）
- たぞえ 麻友氏（一般社団法人 WOMAN SHIFT 理事）
- 永野 慶一郎氏（枕崎市議会 議長）

【 課題 】

- ・議員のなり手不足は住民自治の劣化を招く
- ・民主主義の機能不全である

【 問題解決への取組・考え方（私見を含む） 】

- ・女性の政治進出
 - ハラスメントや差別防止
 - 家庭生活との両立（含 休日問題）
 - 経済面
- ・多様性の向上（多方面からの政治参加）
- ・地方議員養成講座の開講

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 村上 誠	経理 責任者	古川幸宏
旅行期間	令和5年10月25日から 令和5年10月26日まで	1泊 2日	視察代表	岡本碩稔
旅行先	西日本総合展示場 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1)			
宿泊地	コンフォートホテル小倉 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野2丁目6-21)			
視察・研修 等目的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州			
行程	<p>■ 10月25日(水)</p> <p style="text-align: center;">渥美線 こだま のぞみ 徒歩</p> <p>三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 小倉駅 → 会場</p> <p>■ 10月26日(木)</p> <p style="text-align: center;">徒歩 のぞみ こだま 渥美線</p> <p>会場 → 小倉駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅</p>			

経路 渥美線 三河田原駅⇄新豊橋駅 520円×2=1,040円 新幹線(指定席、814km、JRを601km以上利用する 際の往復割を適応) 豊橋駅⇄小倉駅 <u>18,170円(※)</u> ×2=36,340円 (※)【運賃】10,190円(通常料金11,330円×割引0.9、 端数切捨て)+【特急券】7,980円 日当 2,000円×2 ✓ 研修費 9,000円×1 ✓	旅 費						
	鉄道賃	3	7	3	8	0	/
	車賃						
	航空賃						
	日当		4	0	0	0	/
	宿泊料	1	2	0	0	0	/
	研修費		9	0	0	0	/
合計		6	2	3	8	0	/

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月23日

岡本禎稔 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

視察研修報告書

田原市議会議長 殿

岡本禎稔

第18回全国市議会議長会

日時 令和5年10月25、26日

場所 北九州市

テーマ 統一地方選挙の検証と地方議会の課題

10月25日

基調講演 躍動的でワクワクする市議会に

大正大学教授兼地域構想研究所長 片山義博

地方自治は二元代表制だが、住民の関心は首長に集まりがちになっている。これまでの議会改革は、議会の体質や仕事のやりかた、組織の風土をガラリと変えるまでには至っておらず、ほんとうの意味での議会改革にはなっていないのではないかと認識している。議会を住民目線でみたときに、決定機関である議会が備えるべき要素が幾つかあるが、現在の日本の地方議会には公開の場（議場）での真剣な議論、税の議論、住民の声の3つが欠けているのではないか。地方議会でも税についての議論を行い、議案の処理に当たっては住民参加の機会を設けるべき。そうすれば、公開の場の真剣な議論も自ずと実現する。執行部から説明を聞いて良しとするのではなく、執行部は予算案を一つ一つ住民にわかるように丁寧に説明し、議員は議論を交わし、住民の意見を聞く機会を設けるべき。そうすれば本当に有意義な充実した議会になるのではないか。

パネルディスカッション

コーディネーター 日本経済新聞編集委員 谷隆徳

パネリスト 西南学院大学法学部教授 勢一智子

パネリスト 近畿大学法学部教授 辻陽

パネリスト stand by Women 代表/女性議員のハラスメント相談センター共同代表

濱田真理

パネリスト 北九州市議会議長 田仲常郎

今回の統一地方選を評価・検証したうえで、地方議会の課題に対する対応策や処方箋を考えたい。地方議会が抱える課題は、いかに多様な人材に議会に参画してもらうか。どのように議会への理解、住民の関心を高めるのかの2つが問題解決のポイントでは。高齢者ほど投票率が高く、若いほど低い。年代別の投票率をみると、現在の地方議会には住民自治の危機が訪れているのではないかと感じている。議会は人口減少社会でこそ一層重要な役割が期待されている。議会が何を担って、何をやっていくのかを自らしっかり住民に示すことが重要。過小代表の状況を修正する必要がある。女性議員をもっと増やす、年齢層を幅広くすることが理想だ。また、主権者教育が非常に重要。主権者教育の機会を通じて一人でも多く議員になる人材を育てて、議会に興味を持つ人が一人でも増える状況をつくることが重要である。

小規模自治体のなり手不足の問題は、議員報酬と専門化。人口50万人以上であれば議員報酬月額71.6万円、5万人未満の場合は33.5万円と大きな差があり、小規模自治体では議員活動のみで生活するのは厳しい状況。また、小規模自治体では事務局職員数も少なく、政務活動費が交付されていない市もあるため、議会活動が困難な状況にある。首長と議会が対峙する二元代表制で議会の役割を発揮するためには、議員活動に専念できる環境が必要である。

令和3年6月にハラスメント対策が議会に対して義務付けられたが、約2年を経過しても対応はあまり進んでいない。全国すべての自治体、議会でここに仕組みをすぐ作ることは難しいので、福岡県や大阪府の条例のように、都道府県単位などで広域に相談窓口を作るのではなく、相談先として利用できる実効性のある窓口が必要である。ハラスメントに対応するルール作りは、労働環境の整備の視点からも重要である。地方議会のハラスメントはメディアでも注目を浴びており、しっかり対応すべきである。

10月26日

課題討議 議員のなり手不足問題への取り組み報告

コーディネーター 大正大学社会共生学部公共政策学科教授 江藤俊昭

パネリスト 登別市議会議員 辻弘之

パネリスト 一般社団法人WOMENSHIFT 理事、目黒区議会議員 たぞえ麻友

パネリスト 枕崎市議会議員 永野慶一郎

枕崎市は、平成31年4月の統一地方選挙で無投票選挙になったが、その克服を目指した4年間の歩みについて地方の小規模市の実情を交えながら紹介された。次回の選挙では無投票は絶対避けなければとの思いから、選挙直後に後援会関係を通じて議会を志す熱い思いを持つ人に声を掛けたが、家族等の反対もあり、誰も立候補には至らなかった。

議員のなり手不足の問題はいろいろと議論されているが、なり手不足の具体的な解決に向けて、住民に働きかけるターゲット層をどこに置くべきか、社会をどう変えていくべきか、その手法はどのようなものがあるか、という議論が不足していると感じる。

誰のために議会改革をしているか、改めて整理することが必要。議会改革そのものが住民から評価されたり、選挙で票を獲得することには繋がらないので、議員からの改善や改革などの提言を受け入れることも大事。議会改革は議員が社会を変えていくために仕組みをよりよくする手段で、その後に結果を出すことが重要である。

キーワードはやはり育てるということと、働き方ではないか。そもそも議会が何か、どうやって議員になるかを知らなければ立候補する気にならず、議員になってもすぐ辞めてしまう。多様性が議会の存在意義になり、それが政策や監視力の強化につながってくる。そのような議論が必要になってきているのではないか。

参考様式第4号

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 村上 誠	経理 責任者	古川 幸宏																																																												
旅行期間	令和5年10月25日から 令和5年10月27日まで	2泊 3日	視察代表	小川 貴夫																																																												
旅行先	西日本総合展示場 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1) 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 (〒811-3304 福岡県福津市津屋崎4丁目46-24) 九州大学 伊都キャンパス (〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744)																																																															
宿泊地	ホテル法華クラブ福岡 (〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-1-90)																																																															
視察・研修 等 目的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州 SDGs時代の新しい水産業の役割																																																															
行程	別紙のとおり																																																															
経路 別紙のとおり	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="6">旅 費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄道賃</td> <td></td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>車賃</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>航空賃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>日当</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>宿泊料</td> <td></td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>研修費</td> <td></td> <td></td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>8</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>									旅 費						鉄道賃		4	3	2	4	0	車賃			1	0	8	0	航空賃							日当			6	0	0	0	宿泊料		2	4	0	0	0	研修費			9	0	0	0	合計		8	3	3	2	0
		旅 費																																																														
鉄道賃		4	3	2	4	0																																																										
車賃			1	0	8	0																																																										
航空賃																																																																
日当			6	0	0	0																																																										
宿泊料		2	4	0	0	0																																																										
研修費			9	0	0	0																																																										
合計		8	3	3	2	0																																																										

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

■経路

1日目：三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 小倉駅 → 西日本総合展示場 →

徒歩 JR 徒歩
→ 小倉駅 → 博多駅 → ホテル ※小倉駅周辺のホテルが予約できなかった

2日目：ホテル → 博多駅 → 小倉駅 → 西日本総合展示場 → 小倉駅 → 福岡駅 →

バス 徒歩 JR 徒歩 徒歩 JR
→ 水産高校前 → 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 → 水産高校前 →

バス JR 徒歩
→ 福岡駅 → 博多駅 → ホテル

3日目：ホテル → 博多駅 → 九大学研都市駅 → 九州大学 伊都キャンパス →

バス JR、地下鉄 JR のぞみ こだま 渥美線
→ 九大学研都市駅 → 博多駅 → 小倉駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

■旅費

1日目

渥美線

三河田原駅 → 新豊橋駅 520円

新幹線（指定席、814km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅 → 小倉駅 18,170円（※）

（※）【運賃】10,190円（通常料金11,330円×割引0.9、端数切捨て）

+【特急券】7,980円（通常時期料金）

JR

小倉駅 → 博多駅 1,310円

2日目

JR

博多駅 → 小倉駅 1,310円

小倉駅 → 福岡駅 950円

福岡駅 → 博多駅 480円

バス

福岡駅 ⇄ 水産高校前 240円 × 2 = 480円

3日目

地下鉄

博多駅 → 九大学研都市駅 530円

バス

九大学園都市駅 ⇄ 九大船舶・航空実験棟 300円 × 2 = 600円

JR、地下鉄

九大学園都市駅 → 小倉駅 1,800円

新幹線（指定席、814km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

小倉駅→豊橋駅 18,170円（※）

（※）【運賃】10,190円（通常料金11,330円×割引0.9、端数切捨て）
+【特急券】7,980円（通常時期料金）

日当（移動日2,000円×3日） 6,000円

宿泊費（12,000円×2日） 24,000円

研修費 9,000円

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月23日

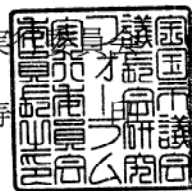
小川貴夫様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

全国市議会議長会 研究フォーラム in 北九州

小川 貴夫

開催日 令和5年10月25日(水)・26日(木)

場所 西日本総合展示会 新館

—統一地方選挙の検証と地方議会の課題— 基調講演 片山善博氏

・地方自治法96条の権限を把握しながら議会活動をすることができること
条例の改廃・予算を定めること・決算を認定すること

- ① 議場は議論をする場所
- ② 税についての議論もできる
- ③ 住民の意見を大切にす
- ④ 議案修正は当たり前の権限であるという認識

・現行の議会の権限を活用して積極的に施策に取り組むことが重要であると感じた。

- ① 予算などの根拠としてアンケート調査などを行うとよい
- ② 教育委員会にはもっと意見をいうべき体制をつくる

*例えば社外取締役のような仕組みを検討すべきである(あて職はNG)

・パネルディスカッション

統一地方選を振り返る

- ① 多様な人材の参画を前提とした議会運営
 - ・勤労者の議会参画⇒夜間・休日等の議会開催など
 - ・女性や若者、育児、介護に携わる者の議会参画
 - ⇒ハラスメント相談窓口の設置や会議規則における育児・介護の取り扱いの明確化等を推進すべきである。
 - ⇒小規模市町村における処遇改善⇒議員報酬の水準のあり方を議論すべきと感じた。
- ② 住民に開かれた議会のための取り組み
 - ・デジタル技術を活用した情報発信の充実
 - ⇒SNSの活用、タブレット端末の使用によるペーパーレス化にあわせた情報公開の充実
 - は、更に推進すべきである
 - ・住民が議会に参画する機会の充実
 - ⇒住民と政策や議会運営を考える場(例 政策サポーターや議会モニターの設置)を検討すべきである
- ③ 議長会等との連携・国の支援
 - ⇒ハラスメント対策に関する議長会の調査
 - ⇒デジタル化について技術的・財政的課題を抱える小規模市町村へ国・議長会への支援

視察・研修等報告書

令和6年4月1日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 小川貴夫

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	村上誠	経理 責任者	古川幸宏
期 間	令和5年10月26日(木) ～ 令和5年10月27日(金)			
視察・研修 等先	九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 (〒811-3304 福岡県福津市津屋崎4丁目46-24) 九州大学伊都キャンパス (〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744) 宿泊先：ホテル法華クラブ福岡 (〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-1-90)			
視察・研修 等の目的	九州大学大学院生物環境科学付属水産実験所を視察 新しい水産業の取り組みについて			
視察先等 面会者	九州大学大学院農学研究院 准教授 栗田喜久氏			
概要及び所見	九州大学水産実験所 ・以前から九州大学でのキャベツウニについての取り組みについては承知しており、栗田氏は田原市の漁業者とキャベツウニの取り組みをしてきていた。今回の視察で多くの田原市議会議員が海の磯焼け対策(ウニも含む)について関心をもって頂けたことが大きいと感じている。 先日、田原中学の生徒が、磯焼け対策やウニの実入りについて取り組みを行い課題解決に向けて研究しているという。この取り組みの素晴らしい所は、教員と漁業者が連携しながら学校内で実証実験を行っていることだと思う。こういう夢のあるプロジェクトは、しっかりと予算化して、子どもたちや漁業者が田原市の将来の水産業について勉強することはとても大切であると感じている。			

また、九州大学で行っている「垂下あさり」の取り組みは、田原市の漁業者から情報を入れながら行っている事業である。

「育てる漁業」を目指す本市では、魅力満載の事業であると思う。こういう事業こそが「産学官連携事業」（企画部）で予算化をして成果物を作成するべき内容かもしれないと感じた。

・ブルーカーボン（磯焼け対策）について

九州大学は地元企業と共同研究を行っている。その取り組みは漁協や水産試験場や水産高校なども関わりながら行っている。

田原市も臨海部には優良な企業があるし、愛知県も田原市も水産業の課題は熟知しているし、若手漁業者にはブルーカーボンに関心をもっている方もいる。こういう時こそ両漁協を中心に県や市を動かしながら、ブルーカーボンの取り組みを行うべきであると強く感じた。

個人的には微力ながら力になりたい！

九州大学伊那キャンパス

・特別に参考になることはなかった。

参考様式第4号

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 村上 誠	経理 責任者	古川 幸宏																																																																			
旅行期間	令和5年10月25日から 令和5年10月27日まで	2泊 3日	視察代表	古川 美栄																																																																			
旅行先	西日本総合展示場 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1) 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 (〒811-3304 福岡県福津市津屋崎4丁目46-24) 九州大学 伊都キャンパス (〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744)																																																																						
宿泊地	ホテル法華クラブ福岡 (〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-1-90)																																																																						
視察・研修 等 目的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州 SDGs時代の新しい水産業の役割																																																																						
行程	別紙のとおり																																																																						
経路 別紙のとおり	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">旅 費</th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄道賃</td> <td></td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>車賃</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>航空賃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>日当</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>宿泊料</td> <td></td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>研修費</td> <td></td> <td></td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>8</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							旅 費								鉄道賃		4	3	2	4	0		車賃			1	0	8	0		航空賃								日当			6	0	0	0		宿泊料		2	4	0	0	0		研修費			9	0	0	0		合計		8	3	3	2	0	
旅 費																																																																							
鉄道賃		4	3	2	4	0																																																																	
車賃			1	0	8	0																																																																	
航空賃																																																																							
日当			6	0	0	0																																																																	
宿泊料		2	4	0	0	0																																																																	
研修費			9	0	0	0																																																																	
合計		8	3	3	2	0																																																																	

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

■ 経路

1 日目：三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 小倉駅 → 西日本総合展示場 →

徒歩 JR 徒歩
→ 小倉駅 → 博多駅 → ホテル ※小倉駅周辺のホテルが予約できなかった

2 日目：ホテル → 博多駅 → 小倉駅 → 西日本総合展示場 → 小倉駅 → 福岡駅 →

バス 徒歩 JR 徒歩 徒歩 JR
→ 水産高校前 → 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 → 水産高校前 →

バス JR 徒歩
→ 福岡駅 → 博多駅 → ホテル

3 日目：ホテル → 博多駅 → 九大学研都市駅 → 九州大学 伊都キャンパス →

バス JR、地下鉄 地下鉄 バス のぞみ こだま 渥美線
→ 九大学研都市駅 → 博多駅 → 小倉駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

■ 旅費

1 日目

渥美線

三河田原駅 → 新豊橋駅 520 円

新幹線（指定席、814km、JR を 601km 以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅 → 小倉駅 18,170 円（※）

（※）【運賃】 10,190 円（通常料金 11,330 円 × 割引 0.9、端数切捨て）

+ 【特急券】 7,980 円（通常時期料金）

JR

小倉駅 → 博多駅 1,310 円

2 日目

JR

博多駅 → 小倉駅 1,310 円

小倉駅 → 福岡駅 950 円

福岡駅 → 博多駅 480 円

バス

福岡駅 ⇄ 水産高校前 240 円 × 2 = 480 円

3 日目

地下鉄

博多駅 → 九大学研都市駅 530 円

バス

九大学園都市駅 ⇄ 九大船舶・航空実験棟 300 円 × 2 = 600 円

JR、地下鉄

九大学園都市駅 → 小倉駅 1,800 円

新幹線（指定席、814km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

小倉駅→豊橋駅 18,170円（※）

（※）【運賃】10,190円（通常料金11,330円×割引0.9、端数切捨て）

+【特急券】7,980円（通常時期料金）

日当（移動日2,000円×3日）6,000円

宿泊費（12,000円×2日）24,000円

研修費 9,000円

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月23日

古川美栄様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

視察・研修等報告書

令和5年11月7日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 古川美栄

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	村上誠	経理 責任者	古川幸宏
期 間	令和5年10月25日(水) ~ 令和5年10月27日(金)			
視察・研修 等先	西日本総合展示場 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 九州大学 伊都キャンパス			
視察・研修 等の目的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州 九州大学大学院による水産養殖			
視察先等 面会者	大正大学教授片山義博 日経新聞編集員谷隆徳 北九州市議会議長田仲常郎 九州大学大学院農学研究院准教授栗田喜久			
概要及び所見	<p>統一地方選挙の検証と「地方議会の課題」</p> <p>片山善博氏 地方議会の欠けているところ 市民意見を聞くこと、もっと積極的に取り組むべきこと、議案の裏を取ることで、市民の意見を聞く場を作ること、議会がアンケートを実施すること、教育委員会教師の多忙化改善を図ること、議会に感謝すること、男女協働、64規定、育児休業制定など</p> <p>谷隆徳氏 自民道府県議選で過半数を維持、維新が議席倍増、関西以外にも進出、立民は低迷、共産は5県で県議ゼロに、投票率は低下傾向続く、41道府県議選 41.85%、294市議選 44.26%、373町村議選 55.49%、いずれも過去最低今回の大きな特長、女性議員の増加 10.4%から 14%へ、依然として無投票当選が多い、道府県 565人 25%、市議会 237人 3.6%、町村議会 1250人 30.3%、21市町村で定数割れ前回は8町村</p> <p>北九州市議会の取り組み 田仲常郎氏カフェトーク in 北</p>			

九州～議員と街を語ろう～ YouTubeにてLive配信テーマ
1 北九州の魅力～外から見た北九州テーマ 2 誰もが住みやすい街を目指して。 ドリームサミット(中学生会議)

北九州における議員立法(政策的なもの)

北九州市商店街の活性化に関する条例

北九州市中小企業振興条例

北九州市子ども読書活動推進条例

北九州市官民データ活用推進条例

北九州市子どもを虐待から守る条例

江藤俊昭氏 議員のなり手不足問題の取り組み 打開策の誤解 誤解 1 議員報酬を増額すれば、誤解 2 定数を削減すれば、誤解 3 夜間会議にすれば、誤解 4 住民総会にすればなどの講演だった。

環境で稼ぐ自治体の実現に向けて 栗田喜久氏 水生無脊椎動物を対象とした水産増養殖学養殖による貝類(二枚貝、巻貝、ウニ、ナマコなど)のサステナブルシーフード化を目指し、基礎研究～技術開発を実施している。世界の一人当たりの魚介類の消費量は半世紀で 2 倍に、魚介類の漁獲量は 70 年で 9 倍に養殖生産が急激に拡大 50%に迫る。世界の水温は 100 年で 0.5 度上昇、日本近海は 1.2 度上昇、平成 27 年と令和 3 年の漁労所得、沿岸漁家 351 万円から 179 万円、沿岸漁船漁家 261 万円から 114 万円、海面養殖漁家 821 万円から 496 万円、九州大学とトヨタ九州がブルーカーボン創出に向けた協働開発を開始、海藻増殖と藻場再生によるブルーカーボン創出体制の構築 地域の児童・学生を対象とした環境教育機会の検討。いかに早く魅力的で的確な「メニューリスト」を作成し、企業に発信できるかが肝「環境」で稼ぐ自治体の実現へ、水槽ではウニ、ヒラメ、フグ、サメの養殖を見学できた。

田原市議会は広聴活動をしっかり取り組んでいると思う。議案の裏取りはしっかり行うようにしたい。投票率の低迷は当市にとっても大変深刻である。いかに興味を持っていただくか、多角的にアピールしなければいけないと思った。水産業(一次産業全て)においては産学官連携し立ち向かっていくことが重要であると教えられた。

参考様式第4号

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 村上 誠	経理 責任者	古川 幸宏																																																											
旅行期間	令和5年10月25日から 令和5年10月27日まで	2泊 3日	視察代表	内藤喜久枝																																																											
旅行先	西日本総合展示場 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1) 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 (〒811-3304 福岡県福津市津屋崎4丁目46-24) 九州大学 伊都キャンパス (〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744)																																																														
宿泊地	ホテル法華クラブ福岡 (〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-1-90)																																																														
視察・研修 等 目的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州 SDGs時代の新しい水産業の役割																																																														
行程	別紙のとおり																																																														
経路 別紙のとおり	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">旅 費</th> <th colspan="5"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄道賃</td> <td></td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>車賃</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>航空賃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>日当</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>宿泊料</td> <td></td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>研修費</td> <td></td> <td></td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>8</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>							旅 費							鉄道賃		4	3	2	4	0	車賃			1	0	8	0	航空賃							日当			6	0	0	0	宿泊料		2	4	0	0	0	研修費			9	0	0	0	合計		8	3	3	2	0
旅 費																																																															
鉄道賃		4	3	2	4	0																																																									
車賃			1	0	8	0																																																									
航空賃																																																															
日当			6	0	0	0																																																									
宿泊料		2	4	0	0	0																																																									
研修費			9	0	0	0																																																									
合計		8	3	3	2	0																																																									

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

■経路

1日目：三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 小倉駅 → 西日本総合展示場 →

徒歩 JR 徒歩
→ 小倉駅 → 博多駅 → ホテル ※小倉駅周辺のホテルが予約できなかった

2日目：ホテル → 博多駅 → 小倉駅 → 西日本総合展示場 → 小倉駅 → 福岡駅 →

バス 徒歩 JR 徒歩 徒歩 JR
→ 水産高校前 → 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 → 水産高校前 →

バス JR 徒歩
→ 福岡駅 → 博多駅 → ホテル

3日目：ホテル → 博多駅 → 九大学研都市駅 → 九州大学 伊都キャンパス →

バス JR、地下鉄 徒歩 JR のぞみ こだま 渥美線
→ 九大学研都市駅 → 博多駅 → 小倉駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

■旅費

1日目

渥美線

三河田原駅 → 新豊橋駅 520円

新幹線（指定席、814km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅 → 小倉駅 18,170円（※）

（※）【運賃】10,190円（通常料金11,330円×割引0.9、端数切捨て）
+【特急券】7,980円（通常時期料金）

JR

小倉駅 → 博多駅 1,310円

2日目

JR

博多駅 → 小倉駅 1,310円

小倉駅 → 福岡駅 950円

福岡駅 → 博多駅 480円

バス

福岡駅 ⇄ 水産高校前 240円 × 2 = 480円

3日目

地下鉄

博多駅 → 九大学研都市駅 530円

バス

九大学園都市駅 ⇄ 九大船舶・航空実験棟 300円 × 2 = 600円

JR、地下鉄

九大学園都市駅 → 小倉駅 1,800円

新幹線（指定席、814km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

小倉駅→豊橋駅 18,170円(※) /

(※)【運賃】10,190円（通常料金11,330円×割引0.9、端数切捨て）

+【特急券】7,980円（通常時期料金）

日当（移動日2,000円×3日）6,000円 /

宿泊費（12,000円×2日）24,000円 /

研修費 9,000円 /

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月23日

内藤喜久枝 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

視察・研修等報告書

令和5年11月1日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団

議員名 内藤喜久枝

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	村上誠	経理 責任者	古川幸宏
期 間	令和5年10月25日（水）～令和5年10月27日（金）			
視察・研修 等先	西日本総合展示場 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 九州大学伊都キャンパス			
視察・研修 等の目的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州 統一地方選挙の検証と地方議会の課題 九州大学大学院生物環境科学府附属水産海洋生物所視察 SDGs時代の新しい水産業の役割について			
視察先等 面会者	北九州市 武内市長 昭和大学教授 片山善博氏 九州大学大学院農学研究院 准教授 栗田喜久氏			
概要及び所見	<p>10月25日 講演「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」片山氏 地方自治は二元代表制だが住民の関心は首長に集まりがちである。現在議会は危機に瀕している。議会を住民目線で見るとき備えるべきは、公の場での真剣な議論・税の議論・住民の声である。これらが機能低下を起こしているため議員のなり手不足が起こっている。多様性が求められている中、しっかりとした価値観を持った人が選ばれてほしい。また投票率の低さも考えなければならない等、様々なところから議会改革を目指す必要がある。各4人のパネリストから違う角度での議会改革の提案があった。</p> <p>10月26日 3名のパネリストから議員のなり手不足問題の取組報告があった。地方に行くほど深刻な問題であり政治への関心が薄れる傾向に歯止めが効かない。パワハラ問題・女性議員の少なさ・若者の政治意識の希薄さ等の改善を取り組む必要がある。午後からは水産実験場にて海洋の温暖化魚介類の栽培や環境についての講義</p> <p>10月27日 九州大学伊都キャンパスにおいて国際的な学生の学び方、新しい施設の利用方法や利便性を視察した。</p>			

所見・所感

全国市議会議長会研究フォーラム

地方議員のなり手不足についての観点から、様々な意見が寄せられたが、本市も無投票の時もあり、政治への関心が若い世代に失われつつあることを感じ対策が必要だと思った。議員が遠い存在になっており、議会改革により、広く市民に活動内容を知らせることが必要だと感じた。政策提案を出し当局との議論の必要性を感じた。

水産海洋試験場

海水の温暖化による魚介類・海藻の変化の講義を受けた。海洋生物が北上し、その影響を受け、渥美半島沖も生態が変わってきていることが理解できた。この試験場は日本で一番大きなタンクを持ち、常に新鮮な海水の提供により魚介類の成長度合いが、学べることができるとのことで新しい研究が進むと良いと感じた。また実際に船も持っており、見せて頂いたが、海洋にも出て環境を研究しているとのことだった。

九州大学伊都キャンパス

多くの多国籍の学生が学んでおり、そのための施設や食堂（各国に合わせたメニュー）があり、学生が安心して生活できると感じた。山を切り開いたキャンパスで、構内がとても広く、バスはもちろん、貸しバイク等が置かれてあった。また、図書館や講堂等、各専門分野の建物が並び施設の充実を感じた。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 村上 誠	経 理 責任者	古川 幸宏			
旅行期間	令和5年10月25日から 令和5年10月27日まで	2泊 3日	視察代表	小川 金一			
旅行先	西日本総合展示場 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1) 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 (〒811-3304 福岡県福津市津屋崎4丁目46-24) 九州大学 伊都キャンパス (〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744)						
宿泊地	ホテル法華クラブ福岡 (〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-1-90)						
視察・研修 等 目 的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州 SDGs時代の新しい水産業の役割						
行 程	別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃	4	3	2	4	0	
	車 賃		1	0	8	0	
	航空賃						
	日 当		6	0	0	0	
	宿泊料	2	4	0	0	0	
	研修費		9	0	0	0	
	合 計	8	3	3	2	0	

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

■ 経路

1日目：三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 小倉駅 → 西日本総合展示場 →

徒歩 JR 徒歩
→ 小倉駅 → 博多駅 → ホテル ※小倉駅周辺のホテルが予約できなかった

2日目：ホテル → 博多駅 → 小倉駅 → 西日本総合展示場 → 小倉駅 → 福岡駅 →

バス 徒歩 JR 徒歩 徒歩 JR
→ 水産高校前 → 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 → 水産高校前 →

バス JR 徒歩
→ 福岡駅 → 博多駅 → ホテル

3日目：ホテル → 博多駅 → 九大学研都市駅 → 九州大学 伊都キャンパス →

バス JR、地下鉄 地下鉄 JR のぞみ こだま 渥美線
→ 九大学研都市駅 → 博多駅 → 小倉駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

■ 旅費

1日目

渥美線

三河田原駅 → 新豊橋駅 520円

新幹線（指定席、814km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅 → 小倉駅 18,170円（※）

（※）【運賃】10,190円（通常料金11,330円×割引0.9、端数切捨て）

+ 【特急券】7,980円（通常時期料金）

JR

小倉駅 → 博多駅 1,310円

2日目

JR

博多駅 → 小倉駅 1,310円

小倉駅 → 福岡駅 950円

福岡駅 → 博多駅 480円

バス

福岡駅 ⇄ 水産高校前 240円 × 2 = 480円

3日目

地下鉄

博多駅 → 九大学研都市駅 530円

バス

九大学園都市駅 ⇄ 九大船舶・航空実験棟 300円 × 2 = 600円

JR、地下鉄

九大学園都市駅 → 小倉駅 1,800円

新幹線（指定席、814km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

小倉駅→豊橋駅 18,170円（※）

（※）【運賃】10,190円（通常料金11,330円×割引0.9、端数切捨て）
+【特急券】7,980円（通常時期料金）

日当（移動日2,000円×3日） 6,000円

宿泊費（12,000円×2日） 24,000円

研修費 9,000円

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月23日

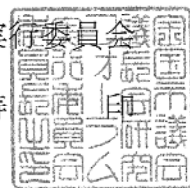
小川金一 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

視察・研修等報告書

令和5年10月30日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
 議員名 小川 金一

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	<small>自由民主党田原市議団</small> 村上 誠	経理 責任者	<small>自由民主党田原市議団</small> 古川幸宏
期 間	令和5年10月25日（水）～令和5年10月27日（金）			
視察・研修 等先	・西日本総合展示場 / ・九州大学伊都キャンパス ・九州大学院生物環境科学府附属水産実験所			
視察・研修 等の目的	第18回全国市議会議長会議			
視察先等 面会者				
概要及び所見	<p>第18回全国市議会議長会議研究フォーラム in 北九州は、全国の市議会議長等が一堂に会し、共通する政策の課題について意見交換などを行うものだった。以下に要点をまとめる。</p> <p>基調講演 大正大学教授兼地域構想研究所長の片山善博氏による基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」が行われた。片山氏は、「地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革の検証」「日本の地方議会に欠けていることは何か」「現行の議会の権限を活用した積極的な取組」「議会の常識と市民の意識」「今、振返って議会に感謝していること」などについて具体例を交えて講演された。</p> <p>パネルディスカッション 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」についてのパネルディスカッションが行われた。</p> <p>パネリストには、西南学院大学法学部教授の勢一智子氏、近畿大学法学部教授の辻陽氏、Stand by Women代表・女性議員のハラスメント相談センター共同代表の濱田真理氏、</p>			

北九州市議会議長の田仲常郎氏が参加。

課題討議 「議員のなり手不足問題への取組報告」についての課題討議があり、その中で事例報告も行われ、地方議員養成講座、若手女性議員のネットワーク&ママの議員インターン、無投票選挙の克服等、具体的な事例の紹介がなされた。

○学ぶべき点と各自治体の課題を解決するための参考点は

- ・地方議会改革の現状と課題について理解を深める。
- ・現行の議会の権限を最大限に活用する方法を学ぶ。
- ・市民の意識と議会の常識のギャップを埋めるための取り組みを考える。
- ・議員のなり手不足問題に対する具体的な取り組み事例を参考にする。
- ・若手女性議員のネットワーク作りや議員インターンの重要性を認識する。
- ・無投票選挙の克服に向けた取り組みを学ぶ。

※以上の内容を参考に、各自治体は自身の課題解決に向けた具体的な取り組みを考えることができた。

○九州大学大学院農学研究院の栗田喜久准教授の主な研究を学び渥美半島の漁業振興について参考とした。

※研究テーマの中でとくに参考になったものは

水圏無脊椎動物における局所適応機構の解明

水圏生物の生態系全体の生産力を底上げするため、水産生物の動態や生活史に対応した良好な生息環境空間を創出する研究については参考になった。

未利用資源／廃棄食材を活用した高機能餌料の開発とその性能評価

未利用資源や廃棄食材を活用した高機能餌料の開発とその性能評価についての研究を行っており、また、水産業を通じたブルーカーボン管理・創出技術の開発は水産業を通じてブルーカーボンの管理と創出技術を開発する研究は渥美半島漁業に応用できると思われる。

二枚貝類の産卵誘発物質に関する研究

二枚貝類の産卵を誘発する物質についての研究を行っており、水産資源と環境対策について自治体が参考になる取り組みを列挙する。

持続可能な漁業の推進

水産資源と環境に配慮し、漁獲量や漁業の規模などに関して定められたルールを守り、実践している漁業や養殖業のことで参考になる。

水産環境整備の推進

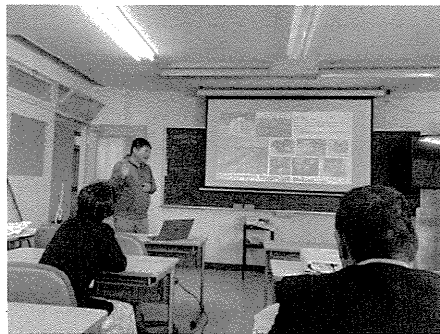
現行の整備手法を見直し、生態系全体の生産力の底上げを目指し、水産生物の動態、生活史に対応した良好な生息環境空間を創出するための「水産環境整備」の考え方をとりまとめている点は取り入れるべき点である。

漁業者と自治体の協力による海洋ごみ回収

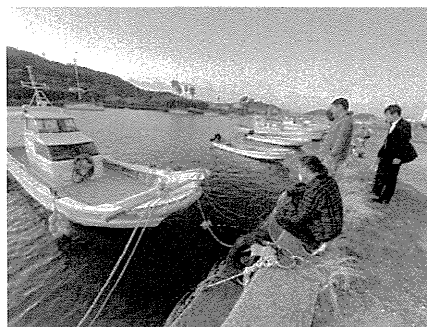
漁業者による海洋ごみ回収の効果的な実施や自治体から漁業者への発信・展開を促進するためのマニュアル・パンフレット・リーフレットを策定しており、当地域にも取り入れられる事例である。

以上の取り組みを参考に、今後の渥美半島の漁業振興課題解決に向けた具体的な取り組みを考えるベースとなった。

【九州大学・大学院生物資源環境科学府附属水産実験所】 視察研修風景



(栗田喜久准教授から座学講義と実験棟での説明)



(現場において、垂下式のウニの養殖について視察学習)

参考様式第4号

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 村上 誠	経 理 責任者	古川 幸宏																																																											
旅行期間	令和5年10月25日から 令和5年10月27日まで	2泊 3日	視察代表	古川 幸宏																																																											
旅行先	西日本総合展示場 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1) 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 (〒811-3304 福岡県福津市津屋崎4丁目46-24) 九州大学 伊都キャンパス (〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744)																																																														
宿泊地	ホテル法華クラブ福岡 (〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-1-90)																																																														
視察・研修 等 目 的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州 SDGs時代の新しい水産業の役割																																																														
行 程	別紙のとおり																																																														
経路 別紙のとおり	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">旅 費</th> <th colspan="5"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄道賃</td> <td></td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>車 賃</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>航空賃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>日 当</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>宿泊料</td> <td></td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>研修費</td> <td></td> <td></td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>8</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>							旅 費							鉄道賃		4	3	2	4	0	車 賃			1	0	8	0	航空賃							日 当			6	0	0	0	宿泊料		2	4	0	0	0	研修費			9	0	0	0	合 計		8	3	3	2	0
旅 費																																																															
鉄道賃		4	3	2	4	0																																																									
車 賃			1	0	8	0																																																									
航空賃																																																															
日 当			6	0	0	0																																																									
宿泊料		2	4	0	0	0																																																									
研修費			9	0	0	0																																																									
合 計		8	3	3	2	0																																																									

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

■ 経路

1日目：三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 小倉駅 → 西日本総合展示場 →

徒歩 JR 徒歩
→ 小倉駅 → 博多駅 → ホテル ※小倉駅周辺のホテルが予約できなかった

2日目：ホテル → 博多駅 → 小倉駅 → 西日本総合展示場 → 小倉駅 → 福岡駅 →

バス 徒歩 徒歩 JR
→ 水産高校前 → 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 → 水産高校前 →

バス JR 徒歩
→ 福岡駅 → 博多駅 → ホテル

3日目：ホテル → 博多駅 → 九大学研都市駅 → 九州大学 伊都キャンパス →

バス JR、地下鉄 徒歩 地下鉄 徒歩 JR のぞみ こだま 渥美線
→ 九大学研都市駅 → 博多駅 → 小倉駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

■ 旅費

1日目

渥美線

三河田原駅 → 新豊橋駅 520円

新幹線（指定席、814km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅 → 小倉駅 18,170円（※）

（※）【運賃】10,190円（通常料金11,330円×割引0.9、端数切捨て）
+【特急券】7,980円（通常時期料金）

JR

小倉駅 → 博多駅 1,310円

2日目

JR

博多駅 → 小倉駅 1,310円

小倉駅 → 福岡駅 950円

福岡駅 → 博多駅 480円

バス

福岡駅 ⇄ 水産高校前 240円 × 2 = 480円

3日目

地下鉄

博多駅 → 九大学研都市駅 530円

バス

九大学園都市駅 ⇄ 九大船舶・航空実験棟 300円 × 2 = 600円

JR、地下鉄

九大学園都市駅 → 小倉駅 1,800円

新幹線（指定席、814km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

小倉駅→豊橋駅 18,170円(※)

(※)【運賃】10,190円（通常料金11,330円×割引0.9、端数切捨て）

+【特急券】7,980円（通常時期料金）

日当（移動日2,000円×3日）6,000円

宿泊費（12,000円×2日）24,000円

研修費 9,000円

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月23日

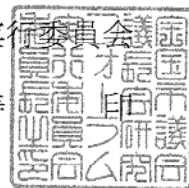
古川幸宏 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

視察・研修等報告書

令和5年10月31日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 古川幸宏

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	村上誠	経理 責任者	古川幸宏
期 間	令和5年10月25日(水) ~ 令和5年10月27日(金)			
視察・研修 等先	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州 西日本総合展示場 (〒802-000 1福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1) 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 (〒811-3304 福岡県福津市津屋崎4丁目46-24) 九州大学伊都キャンパス (〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744) 宿泊先：ホテル法華クラブ福岡 (〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-1-90)			
視察・研修 等の目的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州 統一地方選挙の検証と地方議会の課題 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所視察 SDGs時代の新しい水産業の役割について			
視察先等 面会者	九州大学大学院農学研究院 准教授 栗田喜久氏			
概要及び所見	■第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州 ・基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」 片山善博大正大学教授兼地域構想研究所長 ・パネルディスカッション 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」 コーディネーター 谷 隆徳 日本経済新聞編集委員			

パネリスト

- 勢一 智子 西南学院大学法学部教授
辻 陽 近畿大学法学部教授
濱田 真里 Stand by Women 代表
女性議員のハラスメント相談センター共同代表
田仲 常郎 北九州市議会議長

・課題討議

「議員のなり手不足問題への取組報告」

コーディネーター

江藤 俊昭 大正大学社会共生学部公共政策学科教授

事例報告者

辻 弘之 登別市議会議長

たぞえ 麻友 一般社団法人 WOMANSHIFT 理事、
目黒区議会議員

永野 慶一郎 枕崎市議会議長

研究フォーラムの全体的な所感としては、「議員のなり手不足問題」が印象に残りました。

特に若者や多様な人材の参入促進のためには、議会改革や情報公開等、魅力的な議会運営を目指し、議員の数や報酬などについても議論を深めることが必要だと感じました。

■九州大学大学院 農学研究院附属水産実験所

- ・SDGs 時代の新しい水産業の役割
～環境で稼ぐ自治体の実現に向けて
- ・質疑応答
- ・水産実験所・調査艇 見学

磯焼けの原因であるウニを放置竹林のタケノコで養殖する研究を通じて、海と山の厄介者同士を結びつけ、SDGs・環境保全でイメージアップを図りたい企業から資金調達をするという新しい取り組みが提案されています。

今後の田原市の水産資源回復にも大いに参考になるものと思われます。

■九州大学伊都キャンパス

キャンパス内見学

- ・Big Orange (九州大学新キャンパス情報発信拠点)
- ・ラクすく (EVスクーター シェアサービス)

九州大学は専門教育と全学教育の統合・連携のため、また、老朽化した施設の狭隘改善のため、伊都キャンパスに移転されました。

広大な敷地に革新的な施設が充実しており、校内の移動には1分当たり12円で使える「ラクすく」のサービスもありました。後の所感になりますが、利用してみればよかったと後悔しています。

新キャンパスの情報発信拠点「Big Orange」を見学した後、学食で食事。学生たちの笑顔が印象的で、活気にあふれるキャンパス生活を感じました。

参考様式第4号

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 村上 誠	経 理 責任者	古川 幸宏																																																											
旅行期間	令和5年10月25日から 令和5年10月27日まで	2泊 3日	視察代表	中野 哲伸																																																											
旅行先	西日本総合展示場 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1) 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 (〒811-3304 福岡県福津市津屋崎4丁目46-24) 九州大学 伊都キャンパス (〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744)																																																														
宿泊地	ホテル法華クラブ福岡 (〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-1-90)																																																														
視察・研修 等 目 的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州 SDGs時代の新しい水産業の役割																																																														
行 程	別紙のとおり																																																														
経路 別紙のとおり	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">旅 費</th> <th colspan="5"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄道賃</td> <td></td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>車 賃</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>航空賃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>日 当</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>宿泊料</td> <td></td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>研修費</td> <td></td> <td></td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>8</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>							旅 費							鉄道賃		4	3	2	4	0	車 賃			1	0	8	0	航空賃							日 当			6	0	0	0	宿泊料		2	4	0	0	0	研修費			9	0	0	0	合 計		8	3	3	2	0
旅 費																																																															
鉄道賃		4	3	2	4	0																																																									
車 賃			1	0	8	0																																																									
航空賃																																																															
日 当			6	0	0	0																																																									
宿泊料		2	4	0	0	0																																																									
研修費			9	0	0	0																																																									
合 計		8	3	3	2	0																																																									

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

■経路

1日目：三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 小倉駅 → 西日本総合展示場 →

渥美線 こだま のぞみ 徒歩
徒歩 JR 徒歩
→ 小倉駅 → 博多駅 → ホテル ※小倉駅周辺のホテルが予約できなかった

2日目：ホテル → 博多駅 → 小倉駅 → 西日本総合展示場 → 小倉駅 → 福岡駅 →

徒歩 JR 徒歩 徒歩 JR
バス 徒歩 徒歩
→ 水産高校前 → 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 → 水産高校前 →

バス JR 徒歩
→ 福岡駅 → 博多駅 → ホテル

3日目：ホテル → 博多駅 → 九大学研都市駅 → 九州大学 伊都キャンパス →

徒歩 地下鉄 徒歩 徒歩 JR
バス JR、
地下鉄 JR のぞみ こだま 渥美線
→ 九大学研都市駅 → 博多駅 → 小倉駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

■旅費

1日目

渥美線

三河田原駅 → 新豊橋駅 520円

新幹線（指定席、814km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅 → 小倉駅 18,170円（※）

（※）【運賃】10,190円（通常料金11,330円×割引0.9、端数切捨て）

+ 【特急券】 7,980円（通常時期料金）

JR

小倉駅 → 博多駅 1,310円

2日目

JR

博多駅 → 小倉駅 1,310円

小倉駅 → 福岡駅 950円

福岡駅 → 博多駅 480円

バス

福岡駅 ⇄ 水産高校前 240円 × 2 = 480円

3日目

地下鉄

博多駅 → 九大学研都市駅 530円

バス

九大学園都市駅 ⇄ 九大船舶・航空実験棟 300円 × 2 = 600円

JR、地下鉄

九大学園都市駅 → 小倉駅 1,800円

新幹線（指定席、814km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

小倉駅→豊橋駅 18,170円（※）

（※）【運賃】10,190円（通常料金11,330円×割引0.9、端数切捨て）
+【特急券】7,980円（通常時期料金）

日当（移動日2,000円×3日）6,000円

宿泊費（12,000円×2日）24,000円

研修費 9,000円

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月23日

中野哲伸様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

視察・研修等報告書

令和5年11月1日

田原市議会議長 殿

会派名 自民党田原市議団
議員名 中野 哲伸

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会 派 代表者	村上誠	経 理 責任者	古川幸宏
期 間	令和5年10月25日(水)～ 令和5年10月26日(木)			
視察・研修 等先	第18回全国市議会議長会研究フォーラム 九州大学附属水産研究所・九州大学			
視察・研修 等の目的	統一地方選挙の検証と地方議会の課題 水生無脊椎動物を対象とした水産増養殖について			
視察先等 面 会 者	西日本総合展示場新館 九州大学大学院農学研究院 准教授栗田喜久			
概要及び所見	第1日目 10月25日 基調講演 大正大学教授兼地域構想研究所長 片山 善博 【躍動的でワクワクする市議会に】 パネルディスカッション 【統一地方選挙の検証と地方議会の課題】 コーディネーター 日本経済新聞編集委員 谷 隆徳 パネリスト 西南学院大学法学部教授 勢一 智子 近畿大学法学部教授 辻 陽 Stand By Women代表 女性議員のハラスメント相談センター共同代表 濱田真理 北九州市議会議長 田仲 常郎			

第2日目

課題討議

【議員のなり手不足問題への取組報告】

コーディネーター

大正大学社会共生学部公共政策学科教授 江藤 俊昭

登別市議会議長 辻 弘之

一般社団法人 WOMAN SHIFT 理事・目黒区議会議員

たぞえ 麻友

枕崎市議会議長 永野 慶一郎

第2日目（午後）

【水生無脊椎動物を対象とした水産増養殖について】

【ESG投資を活用し環境で稼ぐ自治体の実現】

九州大学附属水産研究所

九州大学大学院農学研究院准教授 栗田 喜久

研究員 新貝 海斗

第3日目

九州大学伊都キャンパス

【学園都市の現状】

議会運営については、いかに市民に対して地方議員とは何をしていて何が出来るのかを継続的に分かり易く発信していくのか、それも各世代に向けて。

選挙での投票が前提であれば選挙権、投票に行く世代に向けてで良いが、将来議員になりたいなど小学生以上から情報発信し地方議員とはを知らしめていかないといけないと考える。

特に選挙権が18歳からになり、社会に出て働く前の方々も投票すると考えると尚更である。

児童、学生を議会に招く、見学や学校に出向いての討論会など接する機会を増やすのも必要と考える。

栗田准教授との話では今後の日本では取る漁業から育てる漁業へ更なる転換が必要と考えるが、切羽詰まらないと関係者も中々転換が進まない。

田原のアサリも下垂アサリがあるが育てたものを全て出荷するのではなく種貝部分と出荷部分を分けていくことが望ましい。それにはそのサイクルが出来種貝の数が揃うまで所得面など支援と我慢が必要と考える。

また新しい試みとして企業の ESG 投資の話は目に鱗であった。

山林整備や農業用水路の自然再生が CO₂削減につながり企業の ESG 投資の資金が入るらしい。

九州大学はトヨタ北九州と組み、試みを始めるとのこと。

田原市も海に囲まれており藻場再生などによる生物多様性など「海・海洋」における ESG 投資への取組が考えられるのではないかとのことであった。

市としてプランを制定し、ふるさと納税に収めていただき、その資金を活動資金にあてる。

話の内容では漁業、農業またコミュニティーでしている活動がこれに当てはまりお金の流れが出来ることもありそうである。

参考様式第4号

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 村上 誠	経理 責任者	古川 幸宏																																																												
旅行期間	令和5年10月25日から 令和5年10月27日まで	2泊 3日	視察代表	真野 尚功																																																												
旅行先	西日本総合展示場 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1) 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 (〒811-3304 福岡県福津市津屋崎4丁目46-24) 九州大学 伊都キャンパス (〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744)																																																															
宿泊地	ホテル法華クラブ福岡 (〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-1-90)																																																															
視察・研修 等 目的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州 SDGs時代の新しい水産業の役割																																																															
行程	別紙のとおり																																																															
経路 別紙のとおり	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="6">旅 費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄道賃</td> <td></td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>車賃</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>航空賃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>日当</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>宿泊料</td> <td></td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>研修費</td> <td></td> <td></td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>8</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>									旅 費						鉄道賃		4	3	2	4	0	車賃			1	0	8	0	航空賃							日当			6	0	0	0	宿泊料		2	4	0	0	0	研修費			9	0	0	0	合計		8	3	3	2	0
		旅 費																																																														
鉄道賃		4	3	2	4	0																																																										
車賃			1	0	8	0																																																										
航空賃																																																																
日当			6	0	0	0																																																										
宿泊料		2	4	0	0	0																																																										
研修費			9	0	0	0																																																										
合計		8	3	3	2	0																																																										

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

■ 経路

1 日目：三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 小倉駅 → 西日本総合展示場 →

徒歩 JR 徒歩
→ 小倉駅 → 博多駅 → ホテル ※小倉駅周辺のホテルが予約できなかった

2 日目：ホテル → 博多駅 → 小倉駅 → 西日本総合展示場 → 小倉駅 → 福岡駅 →

バス 徒歩 JR 徒歩 徒歩 JR
→ 水産高校前 → 九州大学大学院生物環境科学府附属水産実験所 → 水産高校前 →

バス JR 徒歩
→ 福岡駅 → 博多駅 → ホテル

3 日目：ホテル → 博多駅 → 九大学研都市駅 → 九州大学 伊都キャンパス →

バス JR、地下鉄 JR のぞみ こだま 渥美線
→ 九大学研都市駅 → 博多駅 → 小倉駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

■ 旅費

1 日目

渥美線

三河田原駅 → 新豊橋駅 520 円

新幹線（指定席、814km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅 → 小倉駅 18,170 円（※）

（※）【運賃】10,190 円（通常料金 11,330 円 × 割引 0.9、端数切捨て）

+ 【特急券】7,980 円（通常時期料金）

JR

小倉駅 → 博多駅 1,310 円

2 日目

JR

博多駅 → 小倉駅 1,310 円

小倉駅 → 福岡駅 950 円

福岡駅 → 博多駅 480 円

バス

福岡駅 ⇔ 水産高校前 240 円 × 2 = 480 円

3 日目

地下鉄

博多駅 → 九大学研都市駅 530 円

バス

九大学園都市駅 ⇔ 九大船舶・航空実験棟 300 円 × 2 = 600 円

JR、地下鉄

九大学園都市駅 → 小倉駅 1,800 円

新幹線（指定席、814km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

小倉駅→豊橋駅 18,170円（※）

（※）【運賃】10,190円（通常料金11,330円×割引0.9、端数切捨て）
+【特急券】7,980円（通常時期料金）

日当（移動日2,000円×3日）6,000円

宿泊費（12,000円×2日）24,000円

研修費 9,000円

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月23日

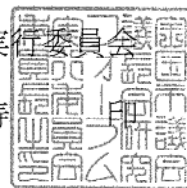
真野尚功 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

視察・研修等報告書

令和5年11月1日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 真野尚功

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	村上誠	経理 責任者	古川幸宏
期 間	令和5年10月25日(水)～令和5年10月27日(金)			
視察・研修 等先	福岡県北九州市 西日本総合展示場 新館 福岡県福津市 九州大学生物資源環境科学付属水産試験所			
視察・研修 等の目的	・第18回全国市議会議長会研究フォーラム参加 ・海洋資源を活用した養殖技術取組事例を学ぶ			
視察先等 面会者	大正大学教授兼地域構想研究所長 片山善博氏 他 九州大学准教授 栗田喜久氏			
概要及び所見	<p>概要</p> <p>第1日 基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」片山善博 パネルディスカッション「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」</p> <p>第2日 課題討議「議員のなり手不足問題への取組報告」 九州大学水産実験所「SDGs時代の新しい水産業の役割～環境で稼ぐ自治体の実現に向けて～」</p> <p>第3日 九州大学キャンパス見学</p> <p>「所見」 基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」片山善博 パネルディスカッション「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」 ・地方分権を進めるうえで、自治体の行政機関と市民との連</p>			

携体制を構築するうえで、地方議会の役割の重要性がますます高まる中、地方議会活性化を活性化する必要性を理解することができた。

- ・これからの地域に必要な施策を行うために、具体的な予算審査を中心とした議会議論を進める必要があり、議会が地域住民の声をしっかりと聞いていく必要性を感じた。
- ・住民に丁寧に予算等の説明をするとともに、住民の声を聞くために、議会として、住民参加の機会を設け、コミュニケーションを図ることが大切である。

課題討議「議員のなり手不足問題への取組報告」

- ・小規模自治体においては、政務活動費の確保などが難しい等、議会活動に専念することが困難であるために、議員の数を確保することが難しい現状があるので、議員としての魅力を向上させる取組が必要である。

九州大学水産実験所「SDGs時代の新しい水産業の役割～環境で稼ぐ自治体の実現に向けて～」

- ・九州大学の研究施設において、主に地域の海洋資源を活用し、地域の産業に貢献する取組についての知識を得た。特に廃棄野菜を餌としたウニの養殖技術を確立する取組については本市の参考になる。
- ・一次産業分野における排出権取引の仕組みを学び、グリーンカーボン、ブルーカーボンが地域の農林水産業の持続可能性につながるヒントを得た。漁場の再生プロジェクトや、農業排水路をコンクリートから木製に変更していく取組などは、今後本市が取り組むべき内容だと感じた。
- ・魚介類の養殖技術を、育てる漁業につなげる仕組みを理解するために、養殖現場で研究の一端を見学し、その規模や工夫していることについて学ぶことができた。また、海に隣接した施設であるため、港でのアサリの吊り下げ式養殖の様子も見学でき、意見交換できたのは良かった。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 村上 誠	経 理 責任者	古川幸宏		
旅行期間	令和6年2月2日	0泊 1日	視察代表	内藤 浩		
旅行先	リファレンス国際ビル貸会議室 (〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目1-1国際ビル2階)					
宿泊地	-					
視察・研修 等 目 的	地方議員研究会 防災減災特別講座①、防災減災特別講座②					
行 程	<p>■往路 渥美線 こだま JR 徒歩 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 有楽町駅 → 会場</p> <p>■復路 徒歩 JR こだま 渥美線 会場 → 有楽町駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅</p>					
経路 渥美線 三河田原駅⇄新豊橋駅 520円×2=1,040円、 新幹線、JR（新幹線は指定席、293.6km）、 豊橋駅⇄有楽町駅 9,100円×2=18,200円、 日当 2,000円×1日、 研修費 15,000円×2講座	旅 費					
	鉄道賃	1	9	2	4	0
	車 賃					
	航空賃					
	日 当		2	0	0	0
	宿泊料					
	研修費	3	0	0	0	0
合 計	5	1	2	4	0	

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

内藤 浩

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書貼
付用紙No.

領収書金額 30,000 円

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領収証

2024 年 2 月 2 日

自由民主党田原市議団 内藤浩 様

★ **¥30,000**

但 2/2 10時～ 防災減災特別講座①
2/2 14時～ 防災減災特別講座②
研修会受講代として

上記正に領収いたしました

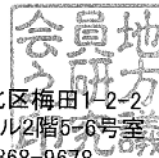
地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-2

大阪駅前第2ビル2階5-6号室

TEL 050-6868-9678



視察・研修等報告書

令和6年2月3日

田原市議会議長 殿

会派名自由民主党田原市議団
議員名 内藤 浩

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会 派 代表者	村上誠	経 理 責任者	古川幸宏
期 間	令和6年2月2日（金）10時00分～16時30分			
視 察 ・ 研 修 等 先	東京都千代田区丸の内3丁目1-1国際ビル 2F リファレンス国際ビル貸会議室			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	地方議員研究会 研修会 「防災・減災特別講座」			
視 察 先 等 面 会 者	川本達志講師			
概 要 及 び 所 見	<p>【概要】</p> <p>防災・減災特別講座①（10:00～12:30）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自治体の防災における役割 2. 法律や計画から学ぶ 3. 過去からの災害から学ぶ 4. 国民保護計画について <p>防災・減災特別講座②（14:00～16:30）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 土砂災害に備えるために必要なこと 2. 地震津波対策について 3. 国からの財政措置 4. 議会・議員がなすべきこと 5. 鳥獣被害の現状と対策について <p>【所見】</p> <p>○防災・減災特別講座①</p> <p>・災害時に正常バイアスがかかる市民に対して、行政命令である避難指示の重要さの認識を確認した。</p>			

- ・避難指示等を発令するために、地域防災計画における避難指示情報の具体的にわかりやすい基準を想定すること。
- ・災害対策基本法において、市の責務・義務のかかる規定があり、市の長には様々な権限が与えられている。
- ・地域防災計画の中で、特に緊急避難場所および避難所をしっかりと検証すること。
- ・被災された場合に速やかに「罹災証明書の交付」また被災後の災害廃棄物の集積場を選定しておくことが重要。
- ・災害の対応は自治体なので、災害対策本部で災害に関する情報収集が重要である。
- ・発災直後の救助は、やはり住民同士の助け合いとなるので、自主防災組織や消防団が重要となる。
- ・国民保護計画については、国の法定受託事務として県の役割が大きい。

【所感】

災害時の発災当初は自助・共助が重要となるので、日頃から近所付き合いやお祭りなど行事が共助につながると考える。また災害の対応は自治体が主体なので、職員自身の無事が重要になってくるので、正常バイアスがかかると思うが、しっかりと自分の命を守っていただきたい。

【所見】

○防災・減災特別講座②

・土砂災害防止法は平成11年6月29日に起きた広島6月豪雨水害を契機として制定され、土砂災害警戒区域は県が行い、市は警戒避難体制の整備・ハザードマップの配布などがある。

しかし、配布しただけでなく市民にしっかりと周知されていることが重要である。

・地震、津波の施策は、従来個別に大綱があったが、東日本大震災以降、最大級の地震について「大規模地震防災・減災対策大綱」として事前の防災、災害発生時の災害応急対策への備えや二次被害・複合災害、過酷な事象への対応、本格復旧・復興、対策の効果的推進がまとめられた。

・基本姿勢は、人命を守り被害をできる限り軽減すること。また、新しい発想による防災・減災対策（ハード・ソフト施策の総動員による「多重防御」）が必要。

・土地利用規制も柔軟な制度を構築が必要。

・災害救済法の適用の場合、県が主体となり市が単独で負担

することはほぼない。

- ・市の役割は、被災住民の正確な情報を得ることである。
- ・災害復旧事業について災害査定により工事費が決定し、原形復旧ではあるが改良的な復旧工事の場合もある。

- ・議員のなすべきことは

1. 地震や台風・大雨の時に自分の命を守ること
2. 自分の住む地域の災害の歴史を知ること
3. 防災情報の入手先を知り、頻繁に利用すること

地域の情報を「議会」として執行部へ情報提供が重要だが、個人での発信は行わないこと。

- ・復旧には議会の承認が必要となるので、議会が機関として被害状況を把握し的確な判断が主体的にできる必要がある。

- ・鳥獣被害の現状と対策では、全国的に熊、鹿、イノシシが特に被害が多い。

- ・耕作放棄地、離農の増加が鳥獣被害増加の要因となっている。対策としては、個体群管理、侵入防止対策、生息環境管理の3本柱が基本となる。

- ・地域ぐるみでの徹底した対策が効果を左右させる。

- ・鳥獣被害防止総合対策交付金は、鳥獣の捕獲等の強化やジビエ利用拡大への取組等を支援している。また、予算も拡充されている。

【所感】

災害時の議員の役割は地域の情報をしっかりと把握し、議会として情報提供を行うことが重要なので、個人レベルでの発信は要注意する。

鳥獣被害対策は特別な対策がないので、地域ぐるみでの対策が重要だと思った。